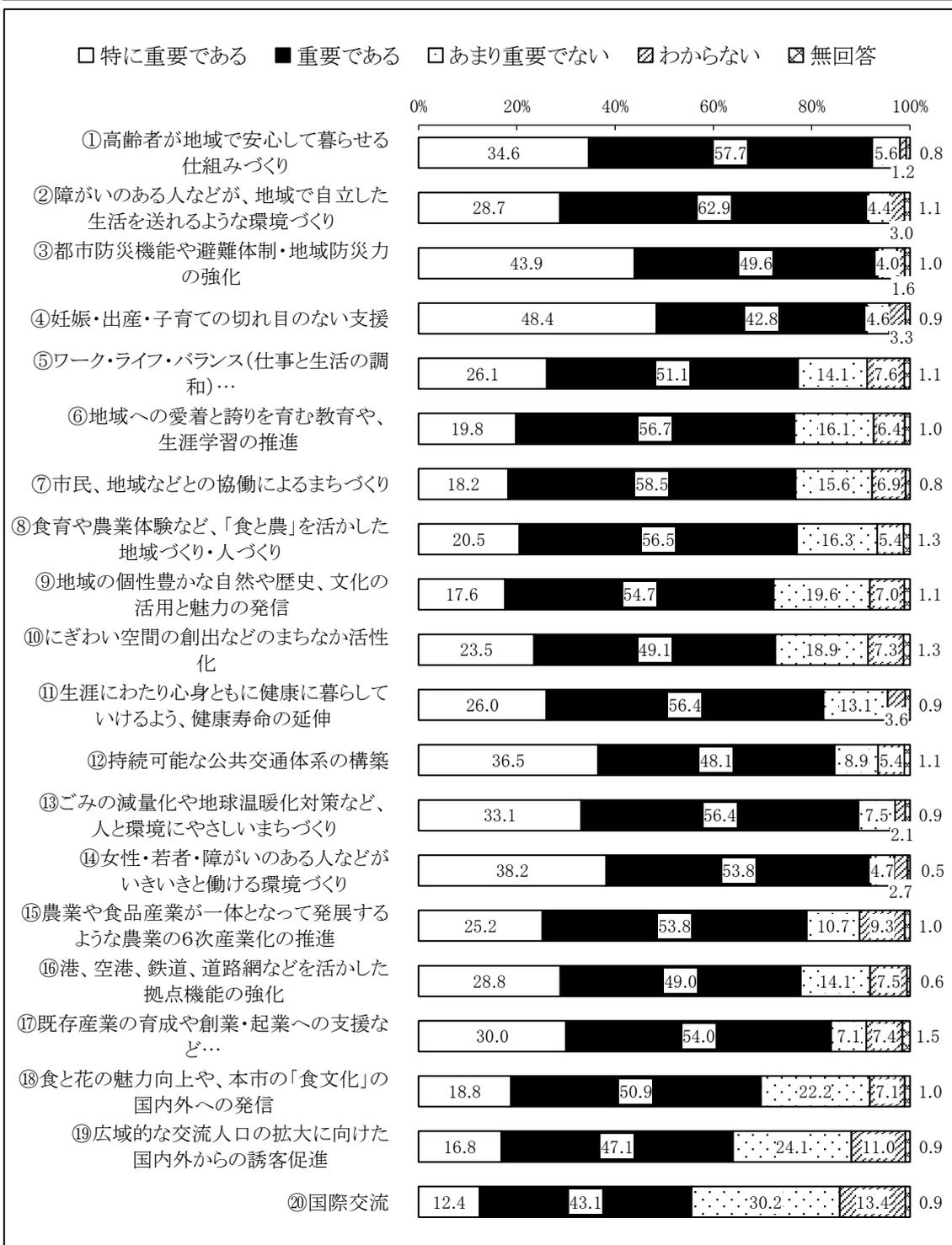


II 調查結果

(2) 主な取り組みの重要度

問2 ①～⑳は「新潟市が進めている主な取り組み」です。新潟市の未来にとって、これらの取り組みは重要だと思いますか。



— 重要だと思われる取り組みは「④妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援」 —

【全体結果】

「特に重要である」は、「④妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援」(48.4%)で最も高く、次いで「③都市防災機能や避難体制・地域防災力の強化」(43.9%)、「⑭女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくり」(38.2%)、「⑫持続可能な公共交通体系の構築」(36.5%)、「①高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくり」(34.6%)、「⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくり」(33.1%)、「⑰既存産業の育成や創業・起業への支援などによる中小企業の振興や雇用創出」(30.0%)と順に続く。

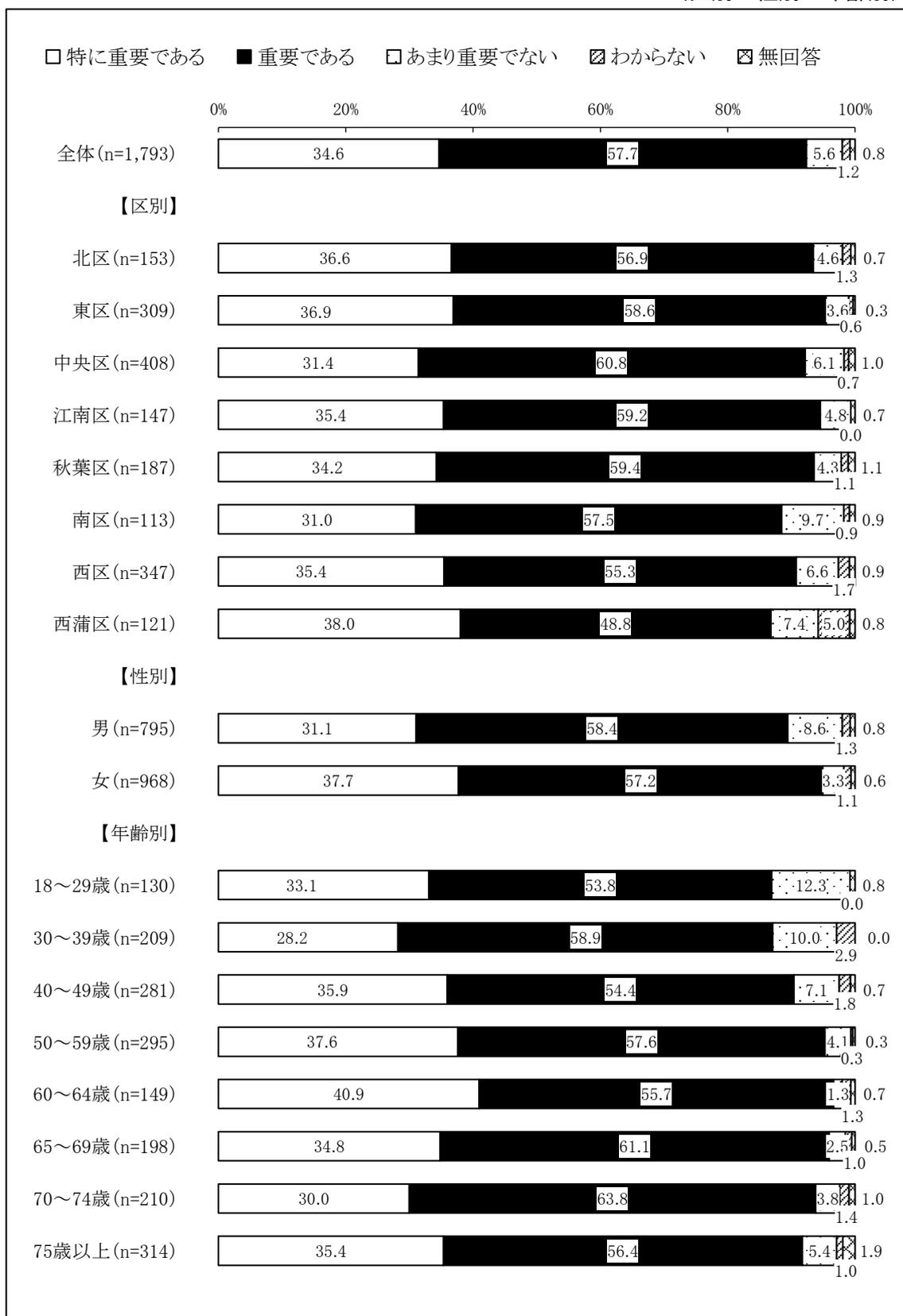
「あまり重要でない」と答えた割合は、「⑳国際交流」(30.2%)で最も高くなった。

【属性別結果】

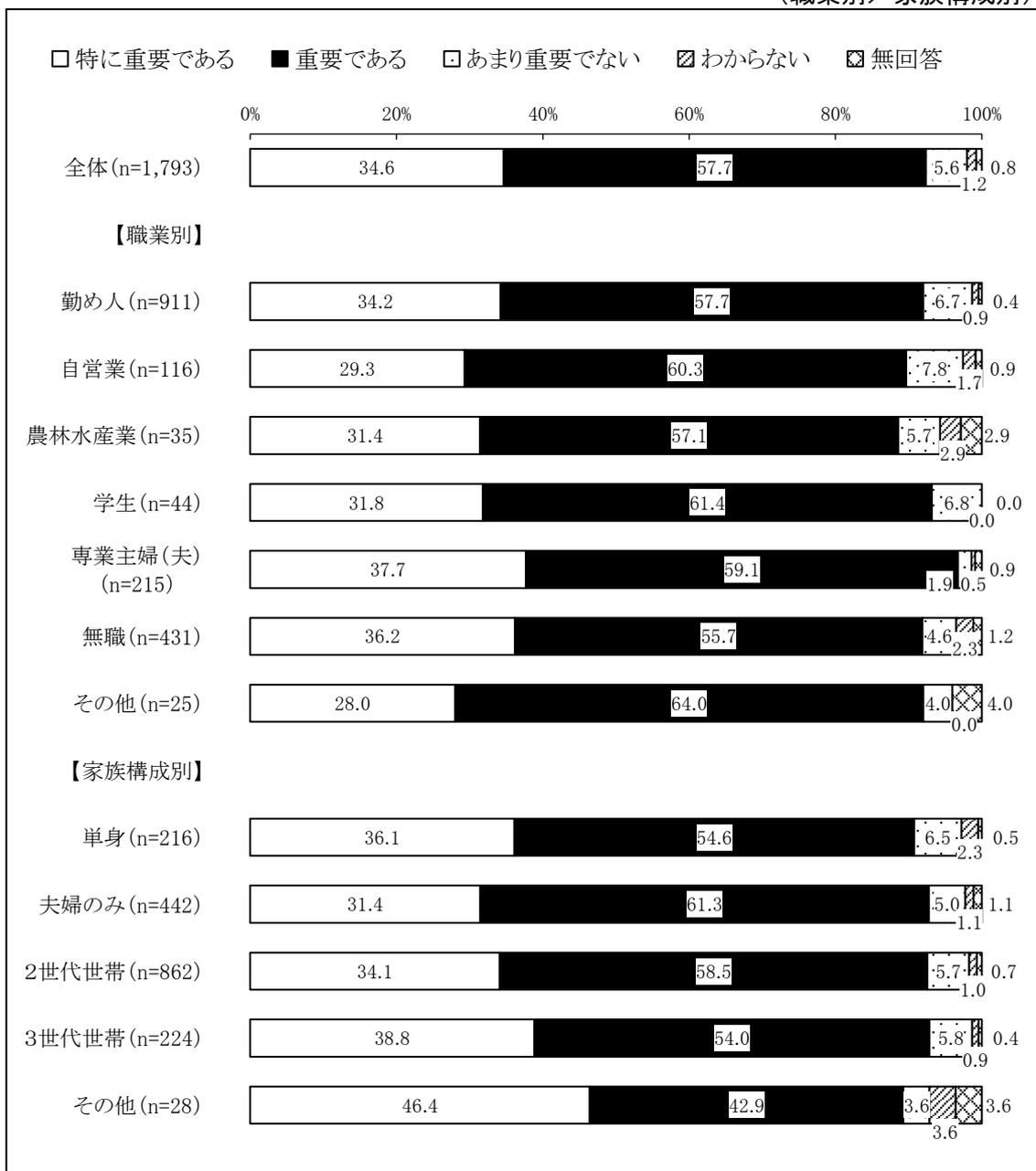
次ページ以降に項目ごとの属性別の集計結果をまとめた。

①高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくり

(区別/性別/年齢別)



(職業別／家族構成別)

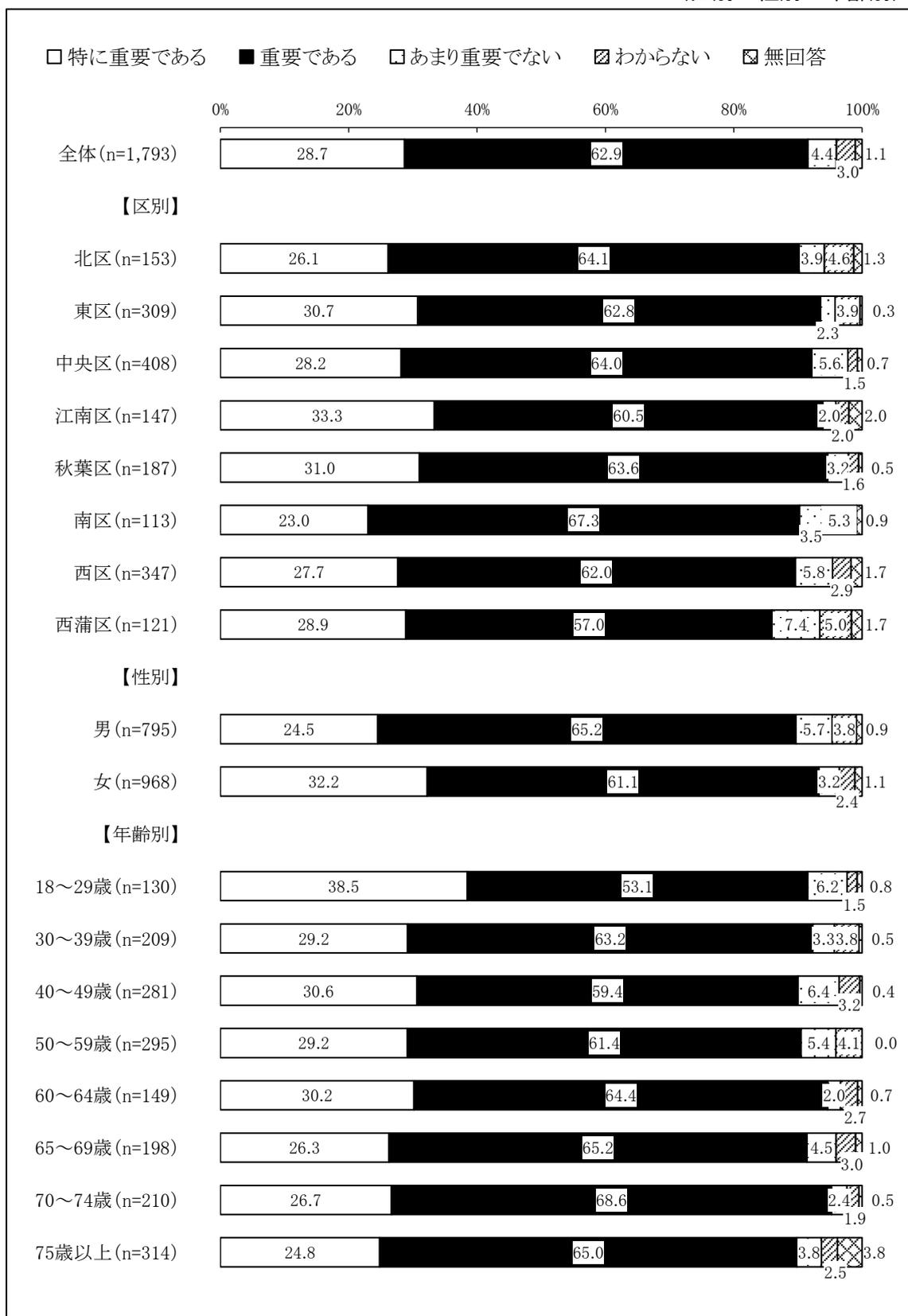


「特に重要である」は、区別では、西蒲区（38.0%）で最も割合が高い。性別では、男性（31.1%）よりも女性（37.7%）で割合が高い。年齢別では、60～64歳（40.9%）で最も割合が高く、約4割となった。職業別では、専業主婦（夫）（37.7%）で最も割合が高くなった。家族構成別では、3世代世帯（親と子と孫）（38.8%）で最も割合が高くなった。

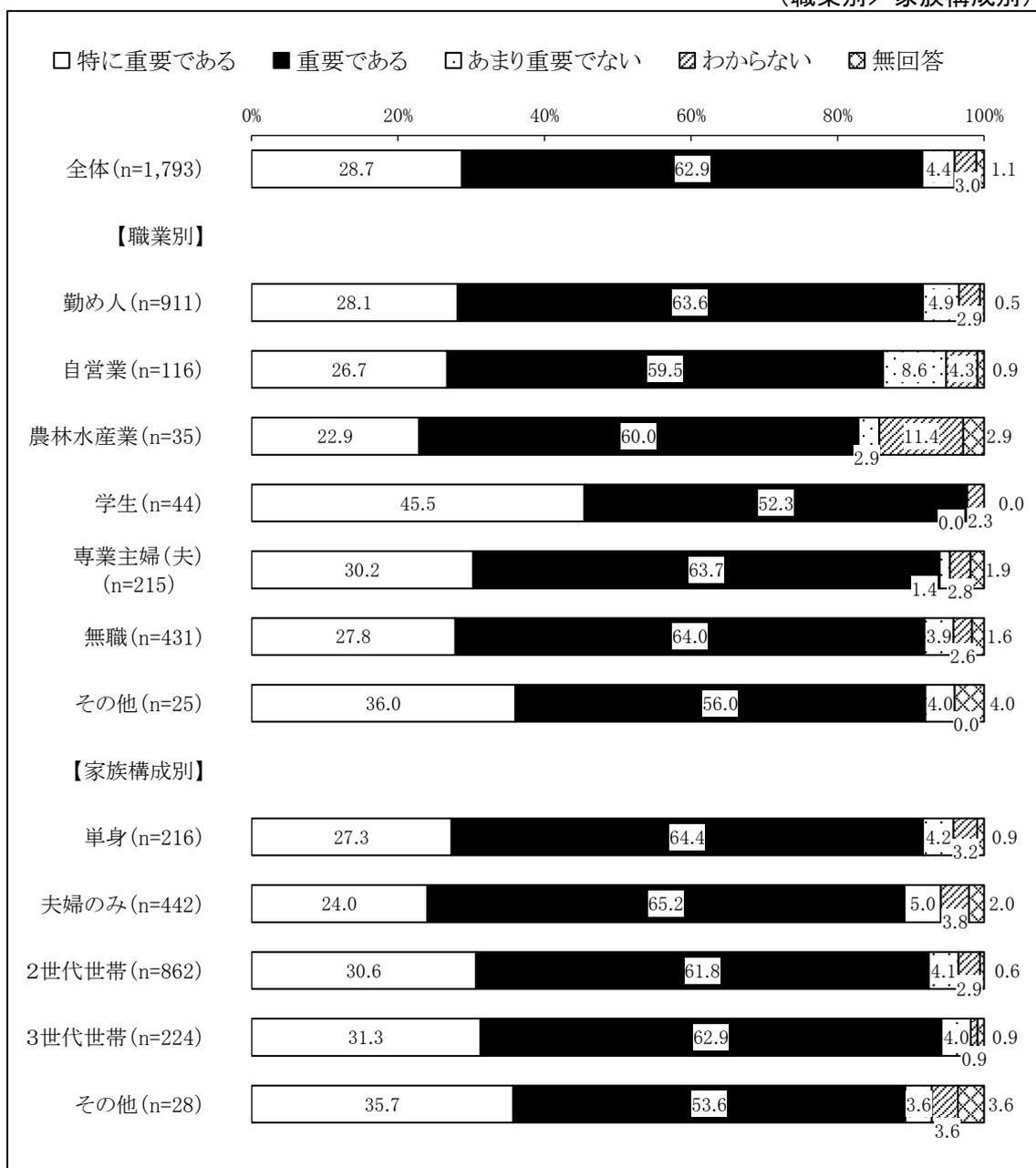
「あまり重要でない」と答えた割合は、18～29歳（12.3%）、30～39歳（10.0%）で1割を超えた。

②障がいのある人などが、地域で自立した生活を送れるような環境づくり

(区別／性別／年齢別)



(職業別／家族構成別)

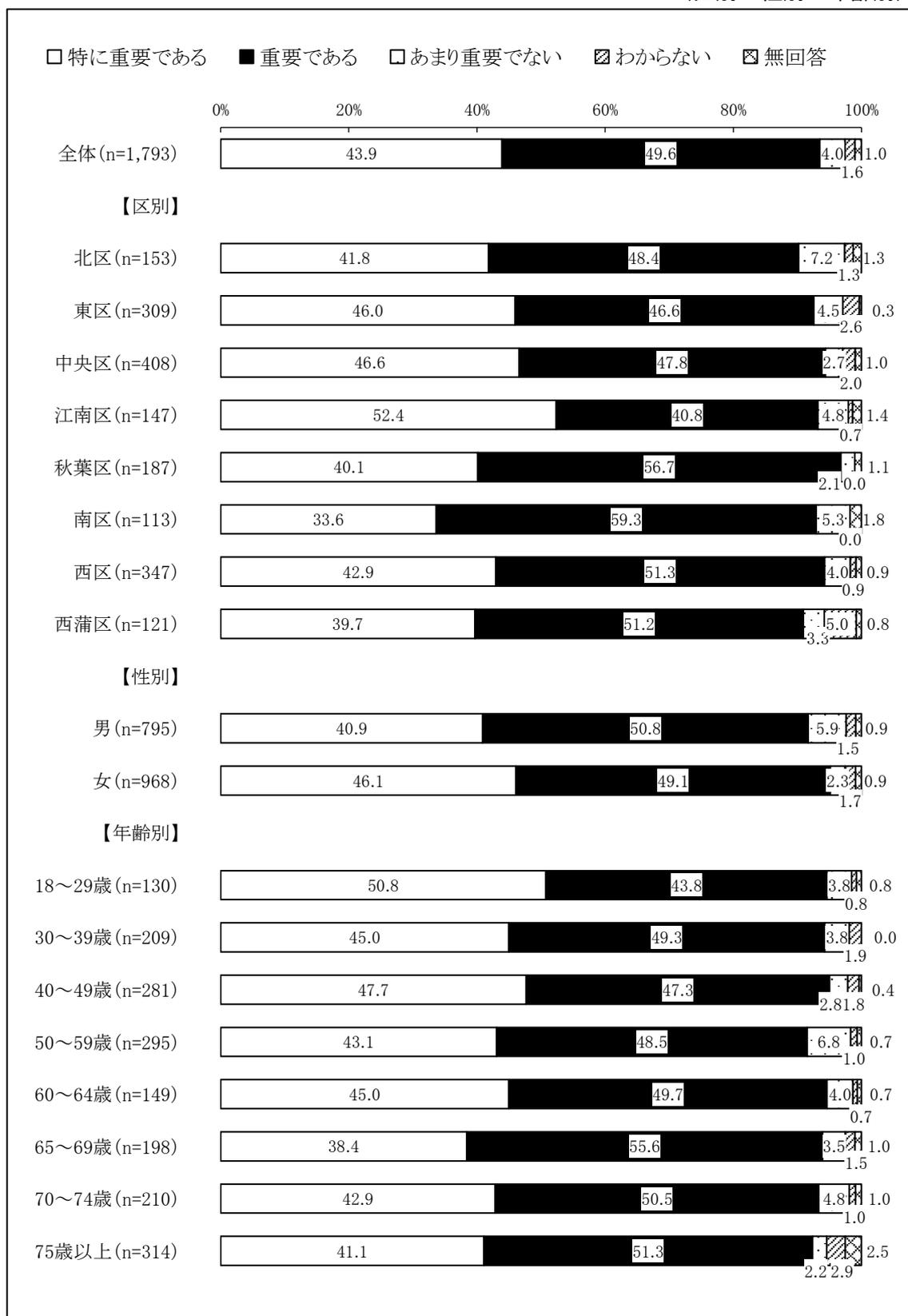


「特に重要である」は、区別では、江南区（33.3%）で最も割合が高い。性別では、男性（24.5%）よりも女性（32.2%）で割合が高い。年齢別では、18～29歳（38.5%）で最も割合が高い。職業別では、学生（45.5%）が、家族構成別では、3世代世帯（親と子と孫）（31.3%）で最も割合が高くなった。

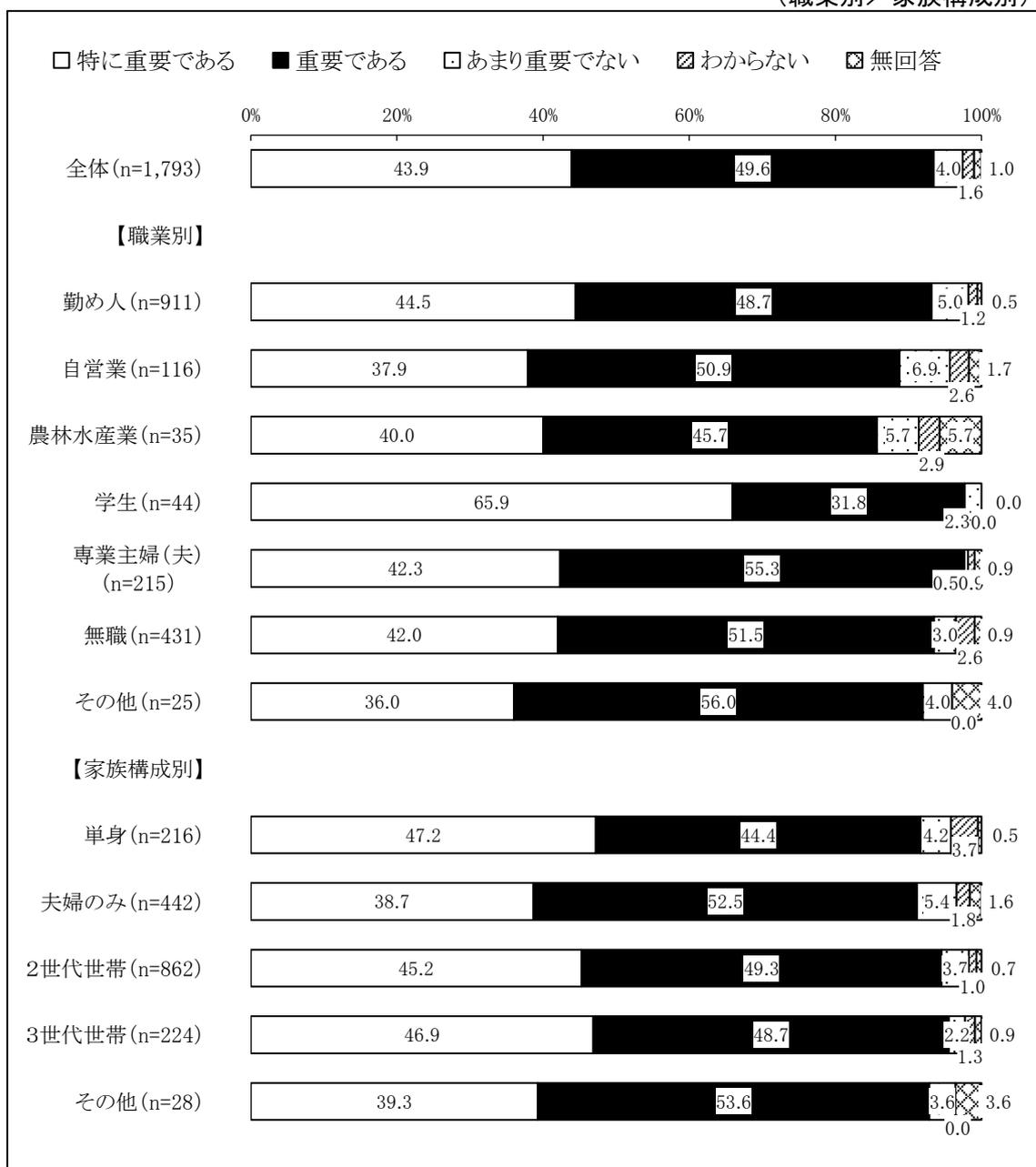
「あまり重要でない」と答えた割合は、いずれの属性でも1割に満たなかった。

③都市防災機能や避難体制・地域防災力の強化

(区別/性別/年齢別)



(職業別／家族構成別)

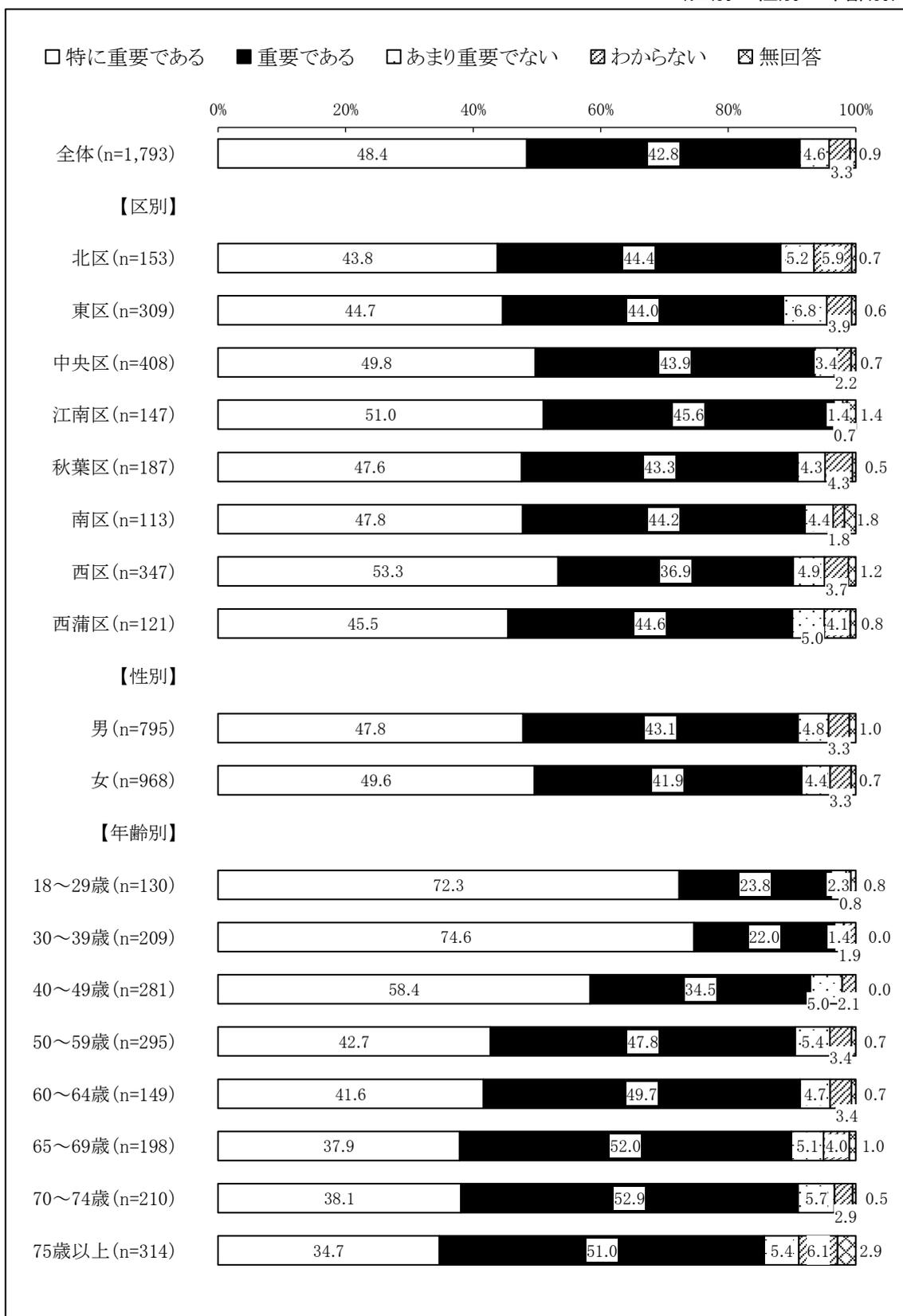


「特に重要である」は、区別では、江南区（52.4%）で最も割合が高く、南区（33.6%）で最も低くなった。性別では、男性（40.9%）よりも女性（46.1%）で割合が高い。年齢別では、18～29歳（50.8%）で最も割合が高く、65～69歳を除くすべての年代で4割を超えた。職業別では、学生（65.9%）が、家族構成別では、単身（47.2%）で最も割合が高くなった。

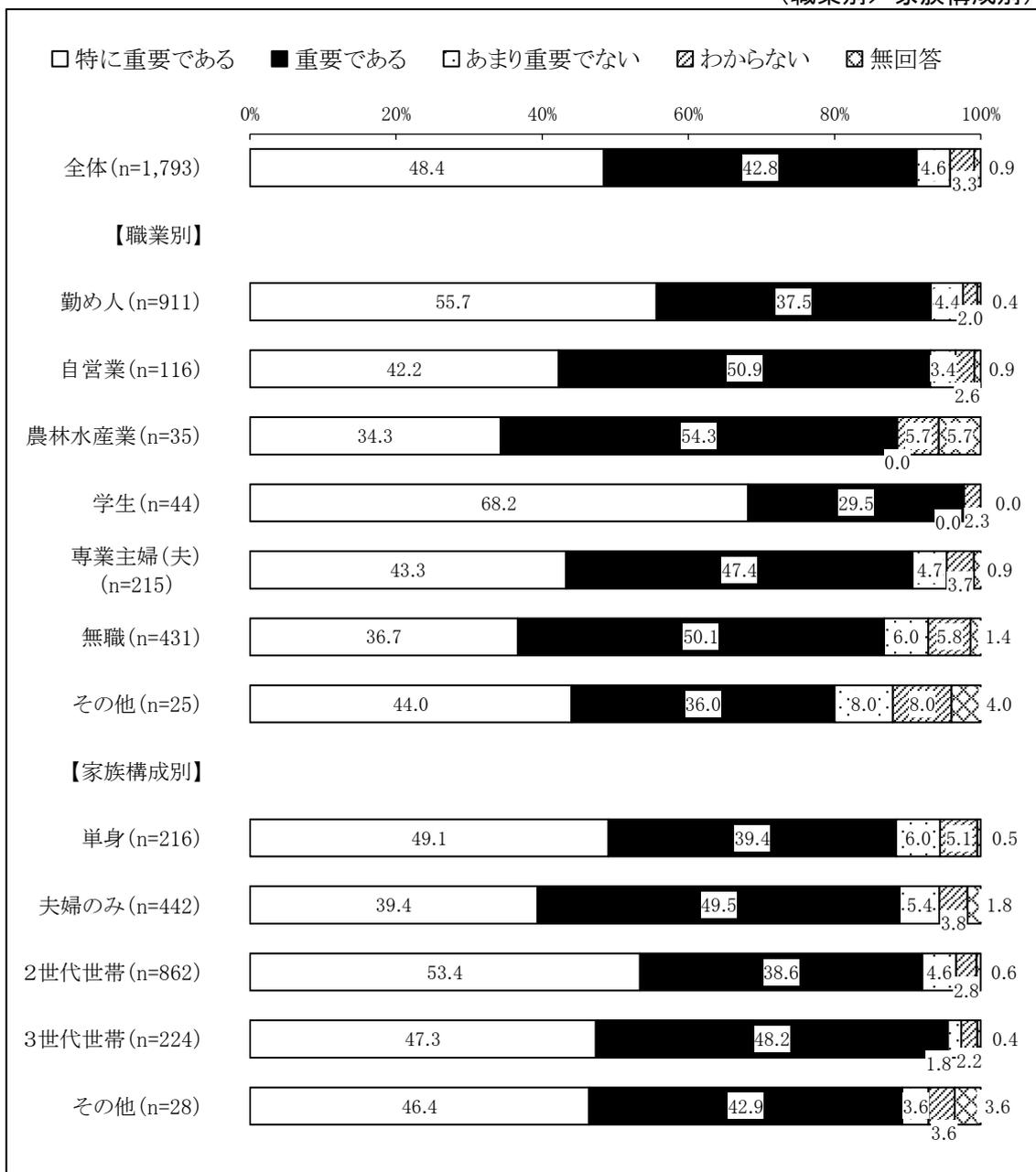
「あまり重要でない」と答えた割合は、いずれの属性でも1割に満たなかった。

④妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

(区別／性別／年齢別)



(職業別／家族構成別)

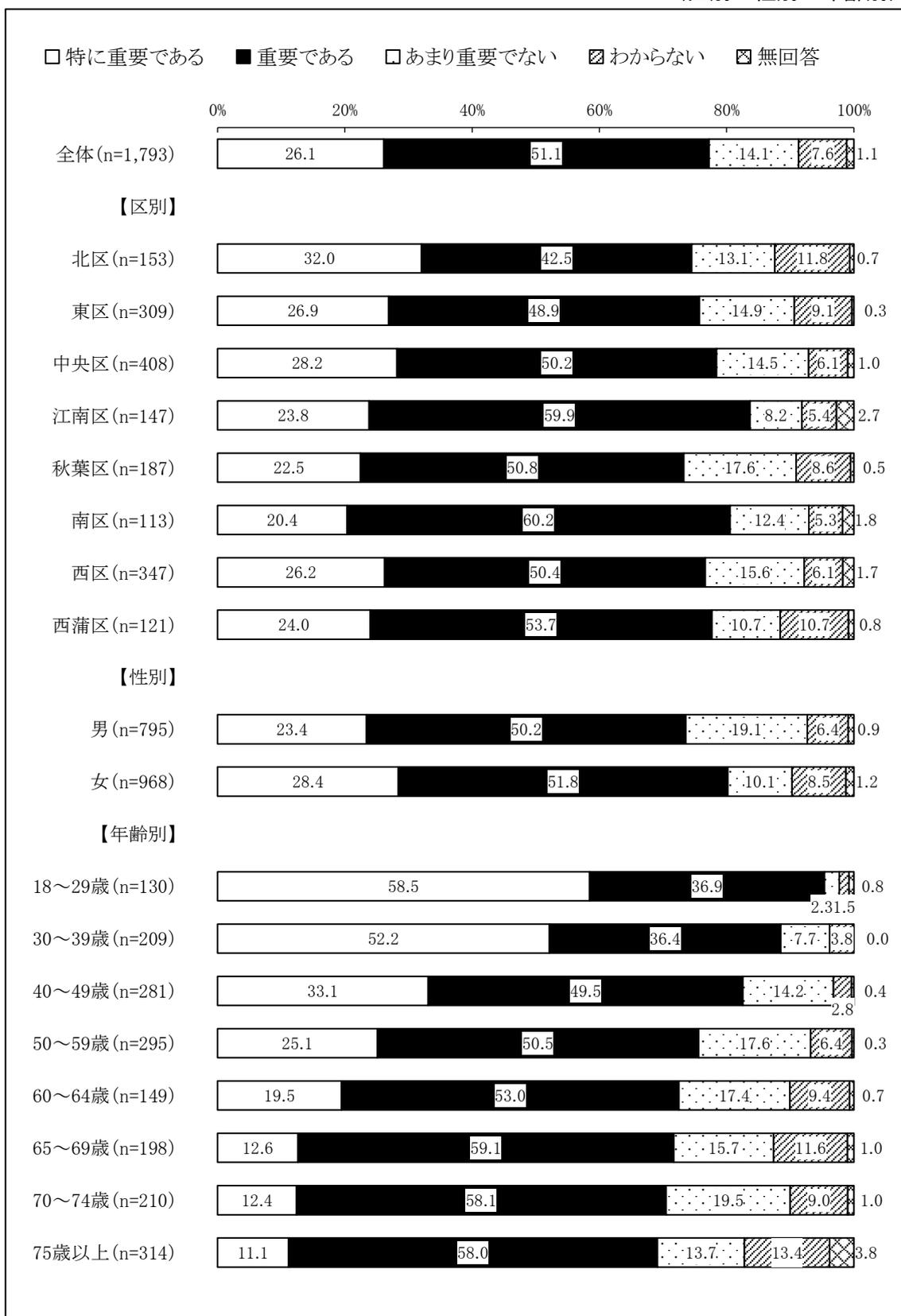


「特に重要である」は、区別では、西区（53.3%）で最も割合が高く、いずれの区でも4割を超えた。性別による差はほとんど見られなかった。年齢別では、30～39歳（74.6%）、18～29歳（72.3%）の若い年齢層で割合が高かった。職業別では、学生（68.2%）で最も割合が高い。家族構成別では、2世代世帯（親と子）（53.4%）で割合が高く、5割を超えた。

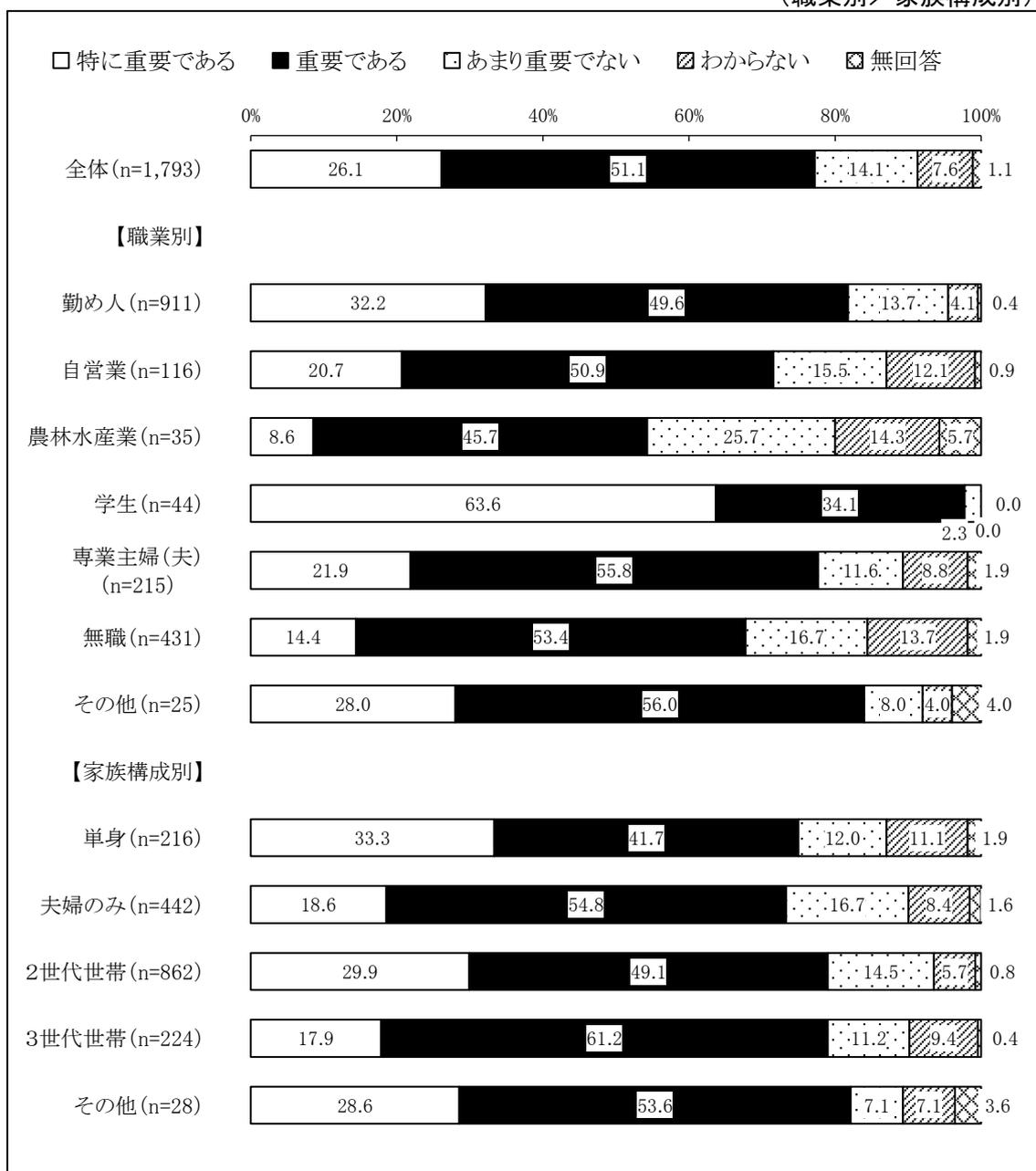
「あまり重要でない」と答えた割合は、いずれの属性でも1割に満たなかった。

⑤ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進

（区別／性別／年齢別）



(職業別／家族構成別)

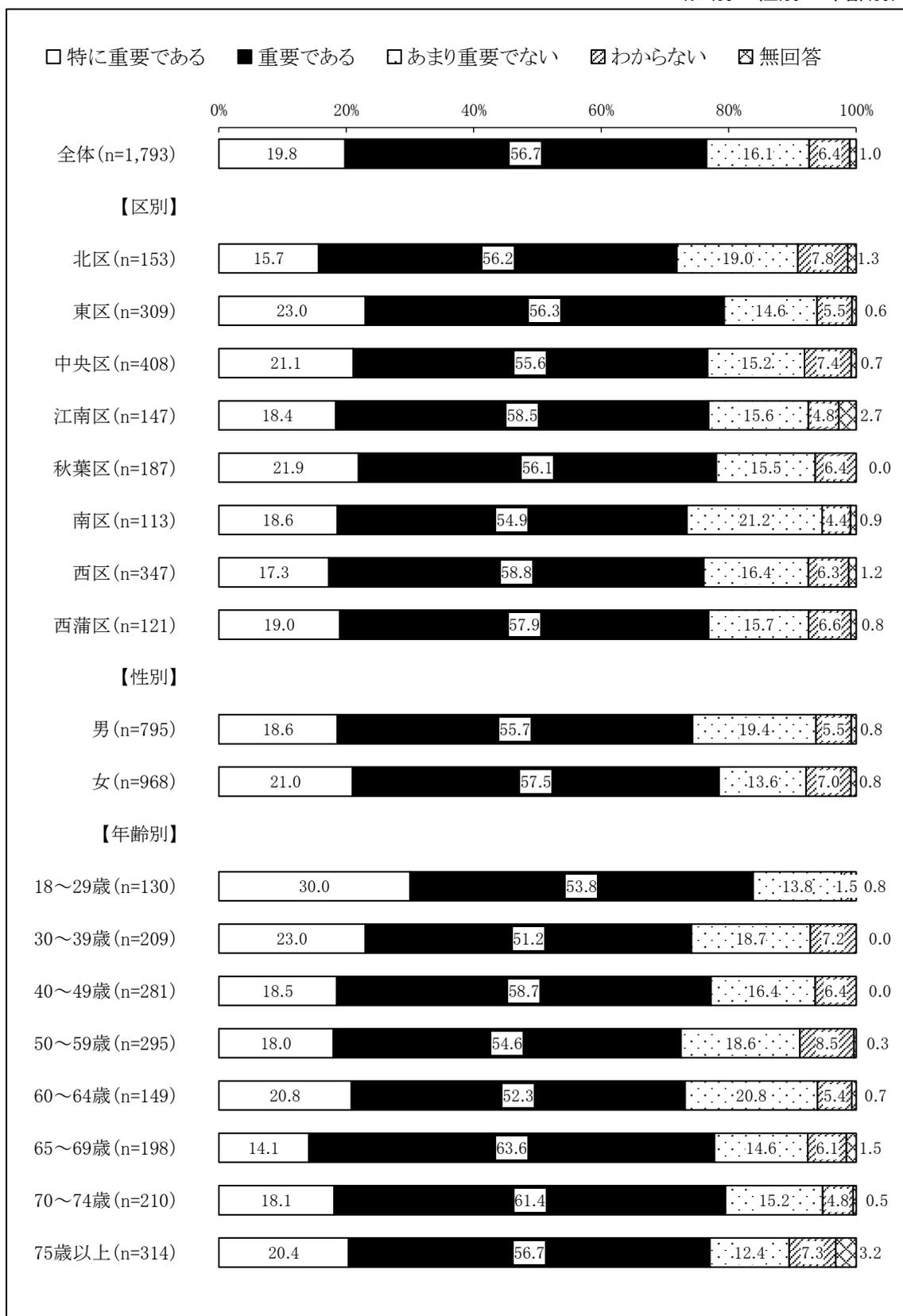


「特に重要である」は、区別では、北区（32.0%）で最も割合が高い。性別では、男性（23.4%）よりも女性（28.4%）で割合が高い。年齢別では、18～29歳（58.5%）、30～39歳（52.2%）で割合が高く、5割を超えた。職業別では、学生（63.6%）で最も割合が高い。家族構成別では、単身（33.3%）で最も割合が高い。

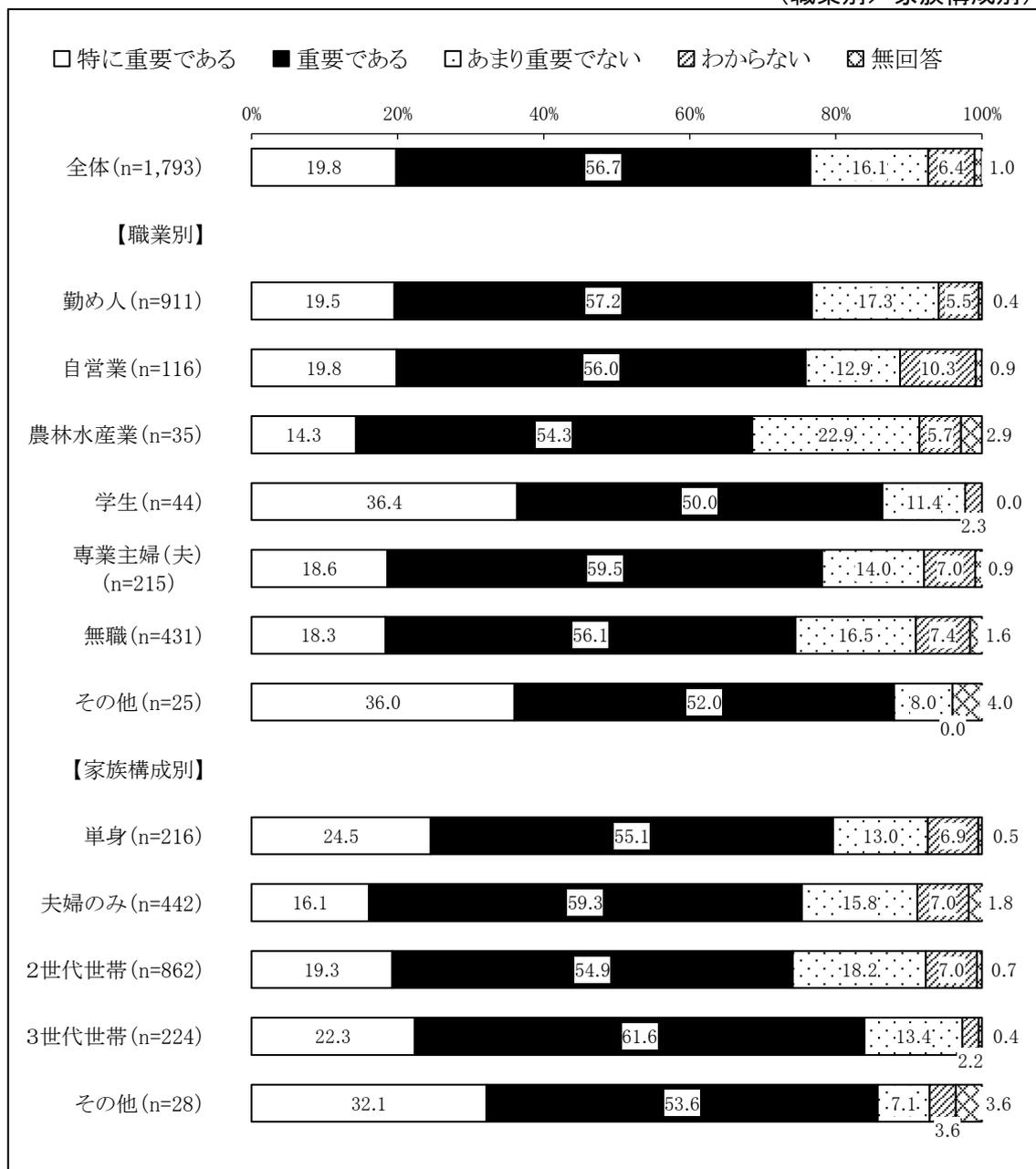
「あまり重要でない」と答えた割合は、職業別では、農林水産業（25.7%）で最も高く、2割を超えた。

⑥地域への愛着と誇りを育む教育や、生涯学習の推進

(区別/性別/年齢別)



(職業別／家族構成別)

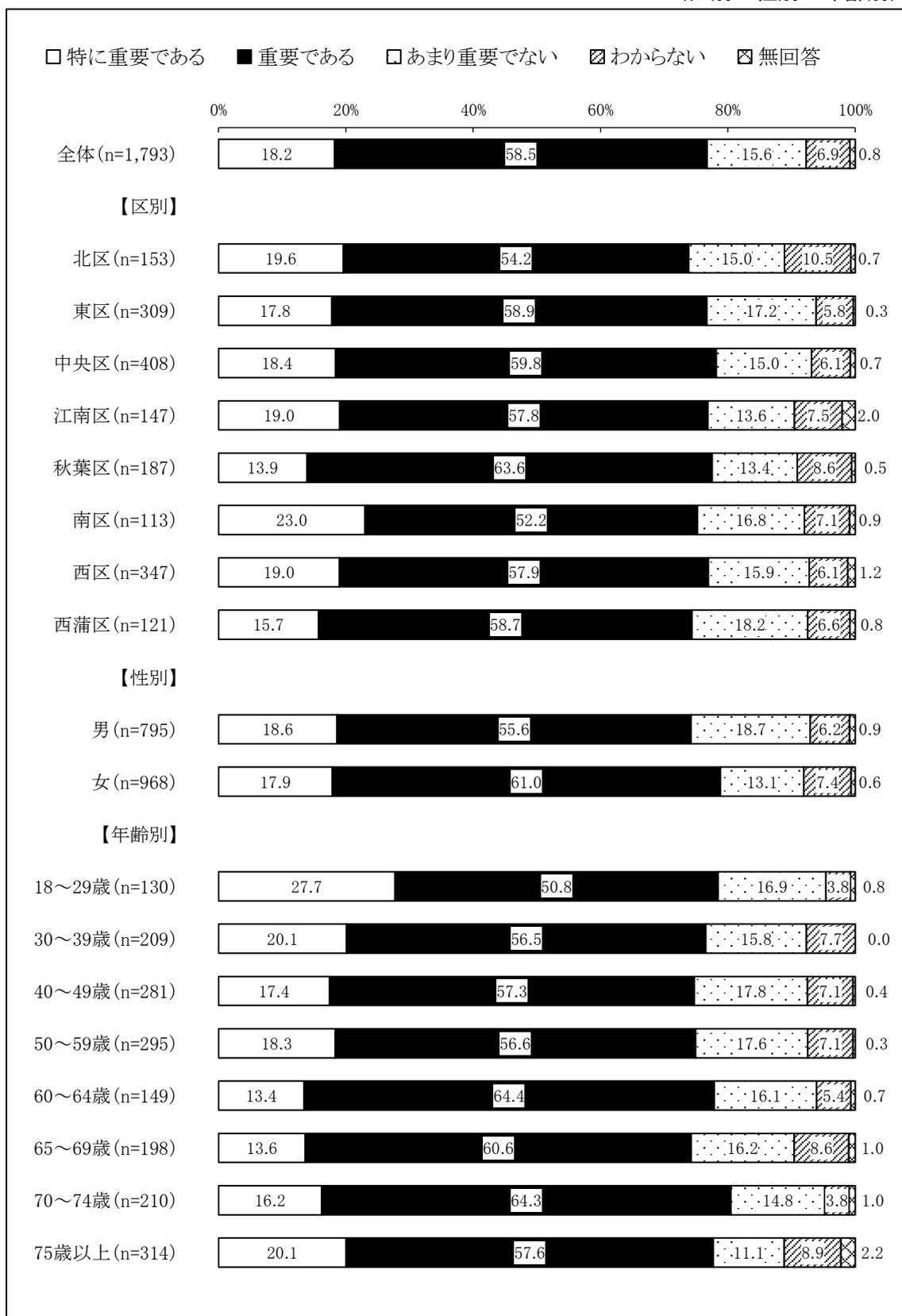


「特に重要である」は、区別では、東区（23.0％）で最も割合が高く、いずれの区でも2割前後となった。性別では、男性（18.6％）よりも女性（21.0％）で割合が高い。年齢別では、18～29歳（30.0％）で最も割合が高い。職業別では、学生（36.4％）で最も割合が高い。家族構成別では、単身（親と子と孫）（24.5％）で最も割合が高い。

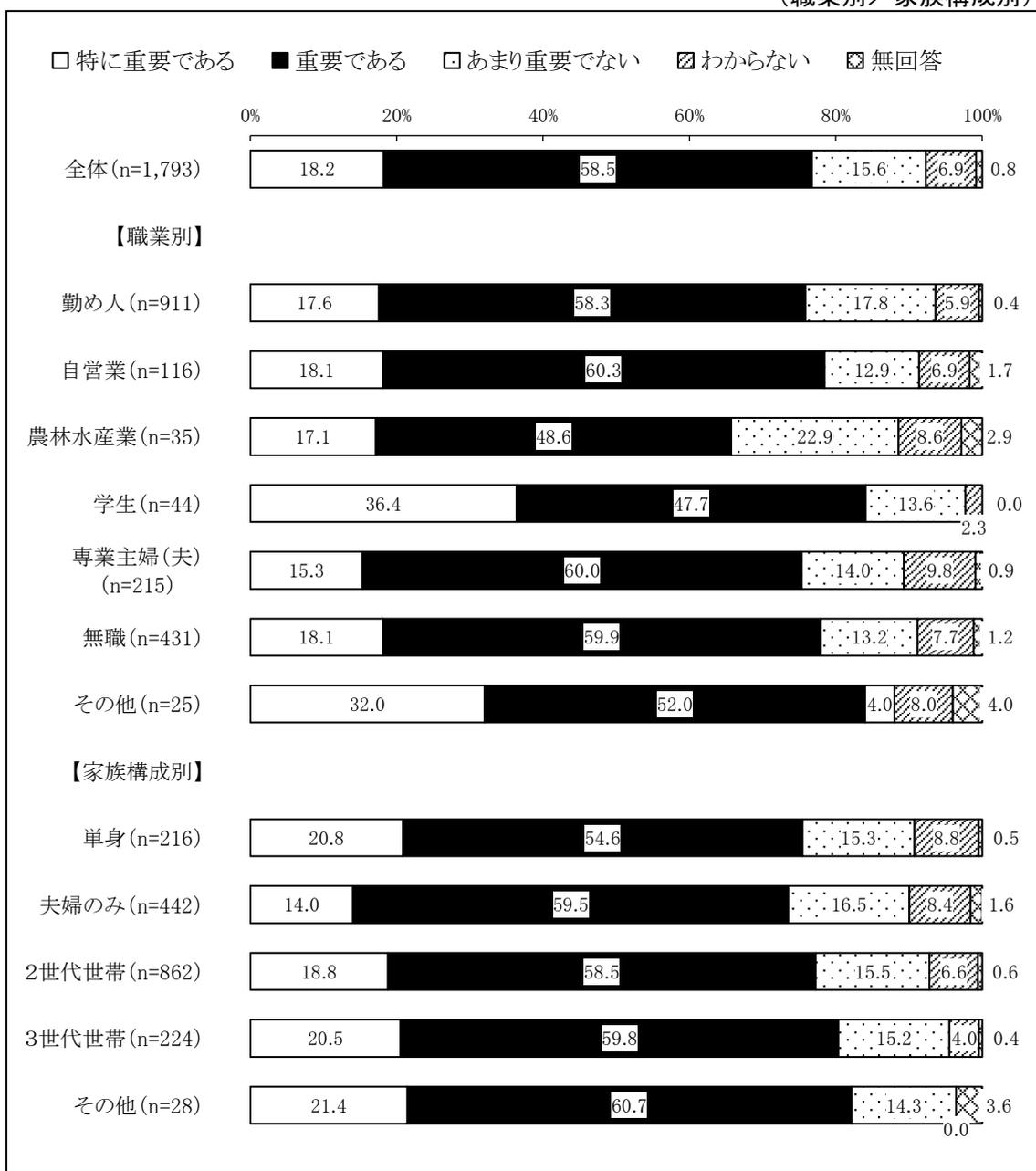
「あまり重要でない」と答えた割合は、区別では、南区（21.2％）、年齢別では、60～64歳（20.8％）、職業別では、農林水産業（22.9％）で高く、2割を超えた。

⑦市民、地域などとの協働によるまちづくり

(区別/性別/年齢別)



(職業別／家族構成別)

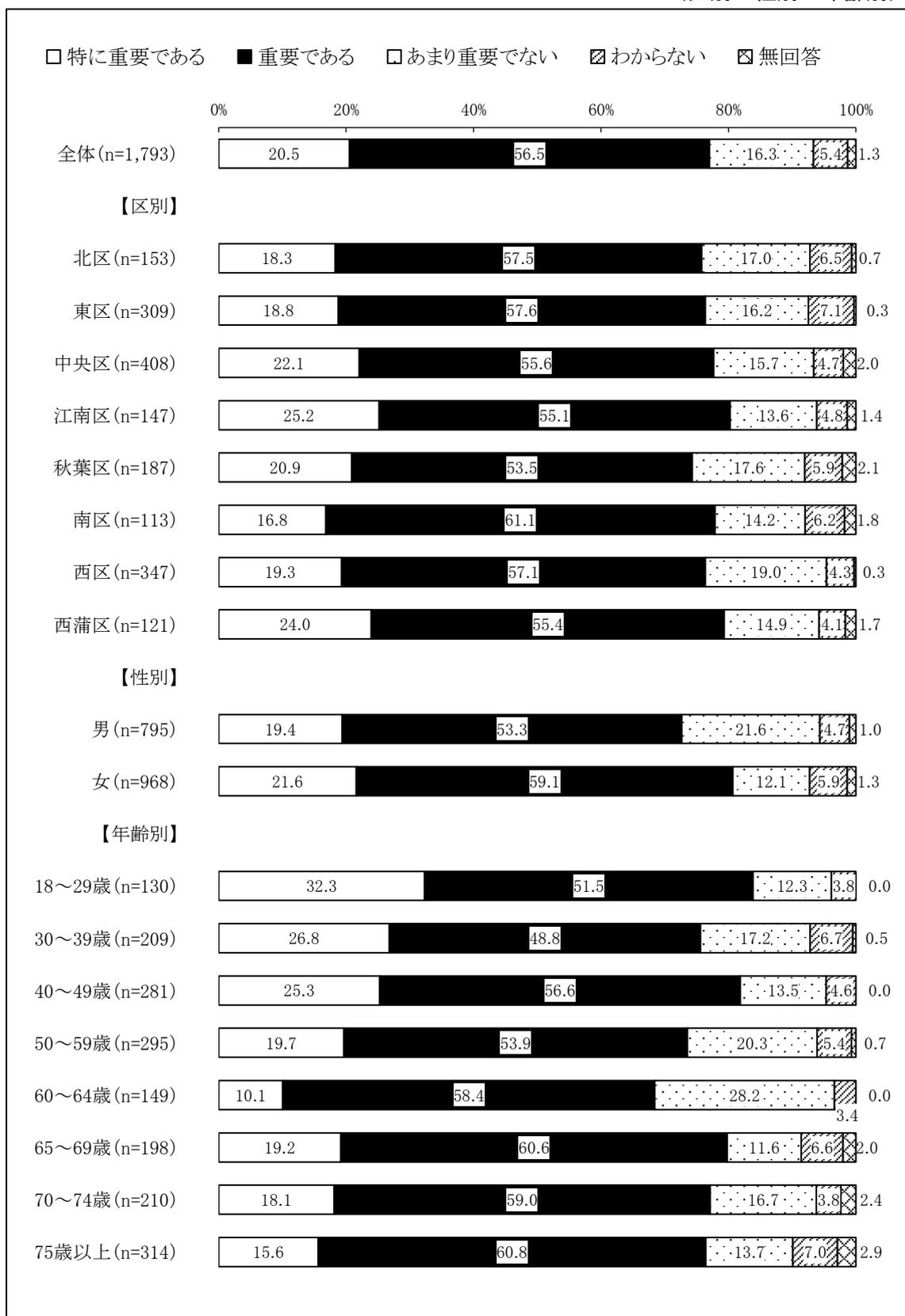


「特に重要である」は、区別では、いずれの区でも2割前後となり、南区（23.0%）で最も割合が高い。性別による差はみられない。年齢別では、18～29歳（27.7%）で最も割合が高い。職業別では、学生（36.4%）で最も割合が高い。家族構成別では、夫婦のみを除くいずれの家族構成でも約2割となった。

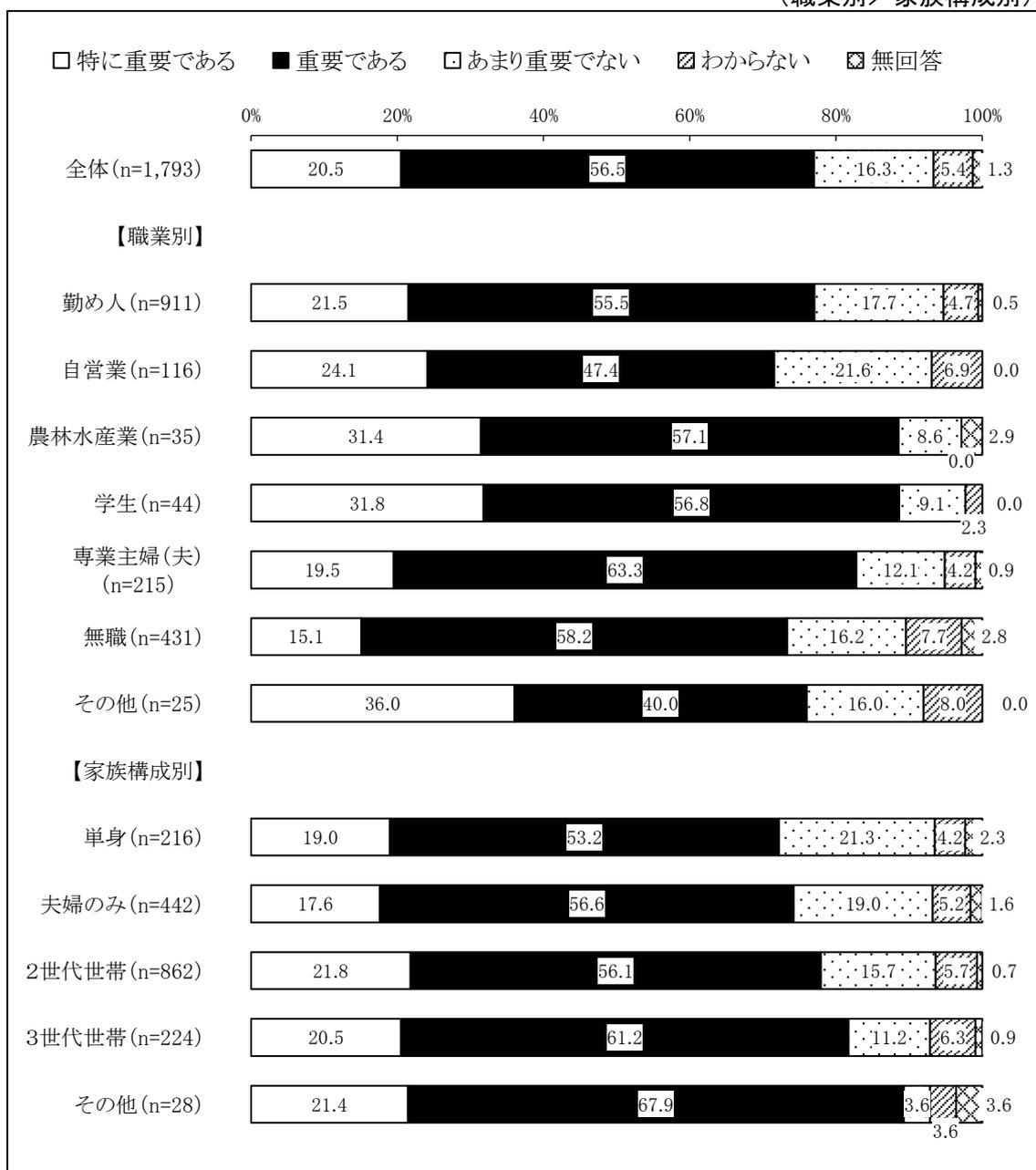
「あまり重要でない」と答えた割合は、職業別では、農林水産業（22.9%）で高く、2割を超えた。

⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくり

(区別/性別/年齢別)



(職業別／家族構成別)

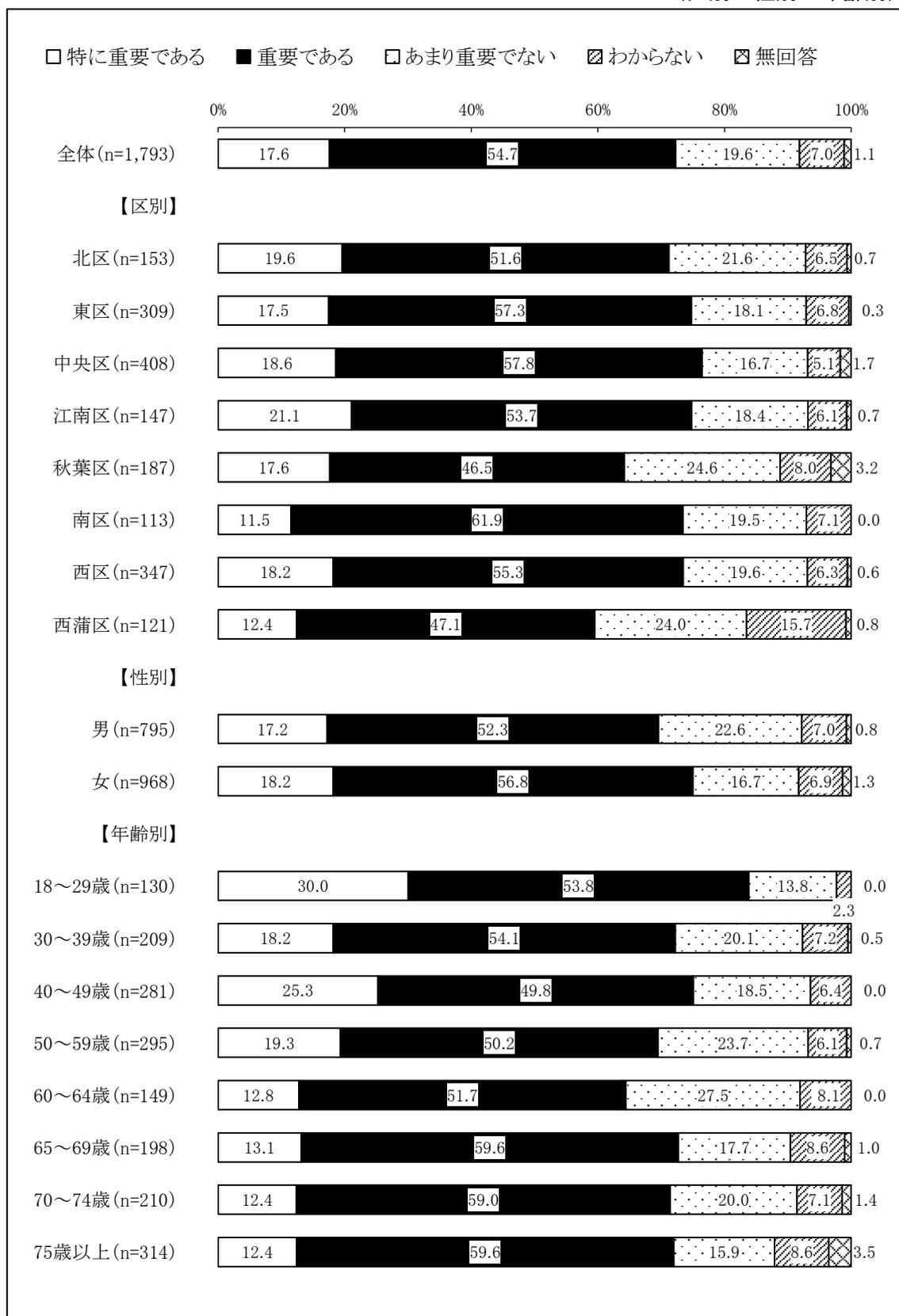


「特に重要である」は、区別では、江南区 (25.2%)、西蒲区 (24.0%) で割合が高く、2割半ばとなった。性別では、男性 (19.4%) よりも女性 (21.6%) で割合が高い。年齢別では、18～29歳 (32.3%) で最も割合が高い。職業別では、学生 (31.8%) と農林水産業 (31.4%) で割合が高く、約3割となった。家族構成別では、夫婦のみを除くいずれの家族構成でも2割前後となった。

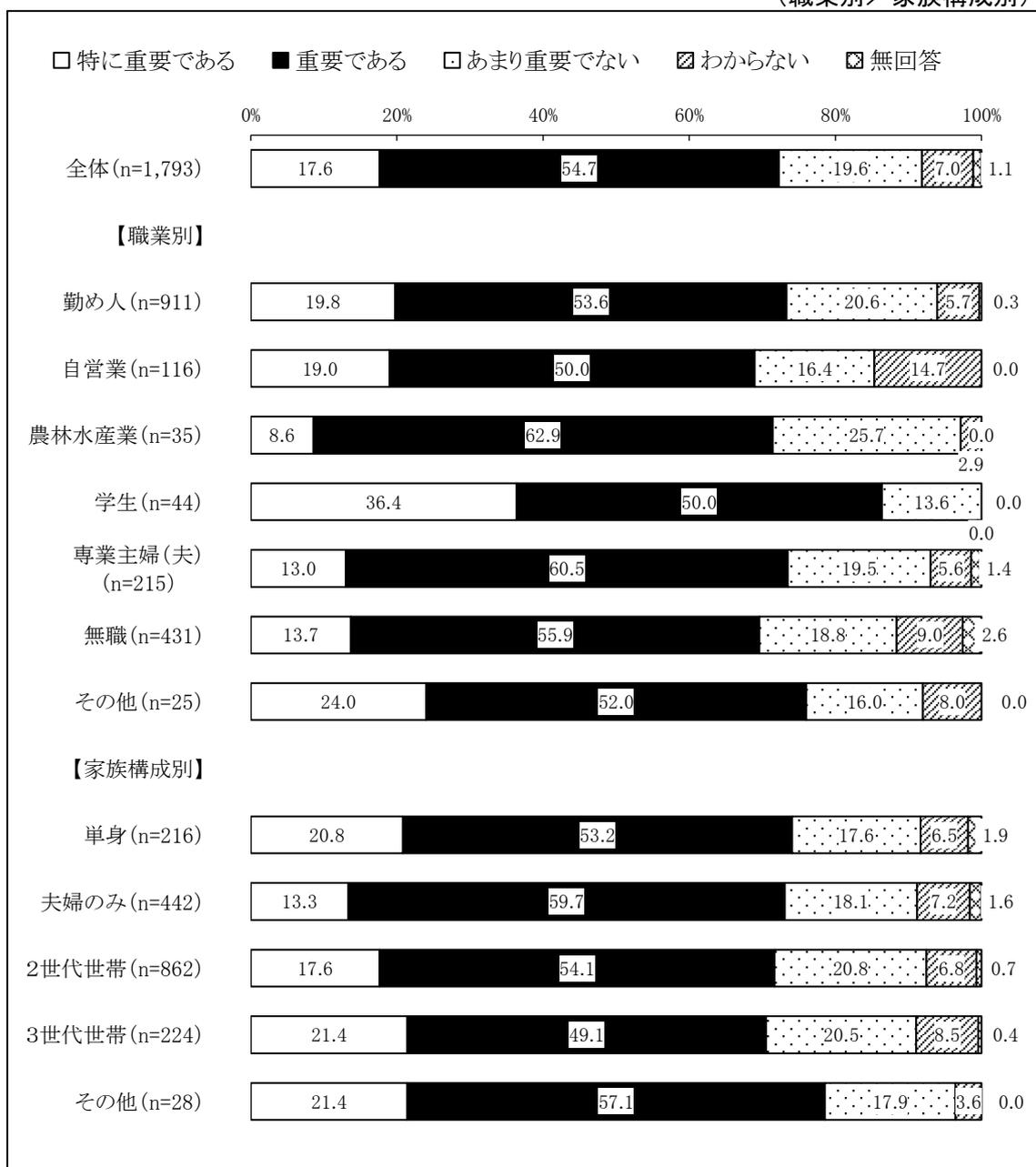
「あまり重要でない」と答えた割合は、年齢別では、60～64歳 (28.2%) で高く、約3割となった。

⑨地域の個性豊かな自然や歴史、文化の活用と魅力の発信

(区別/性別/年齢別)



(職業別／家族構成別)

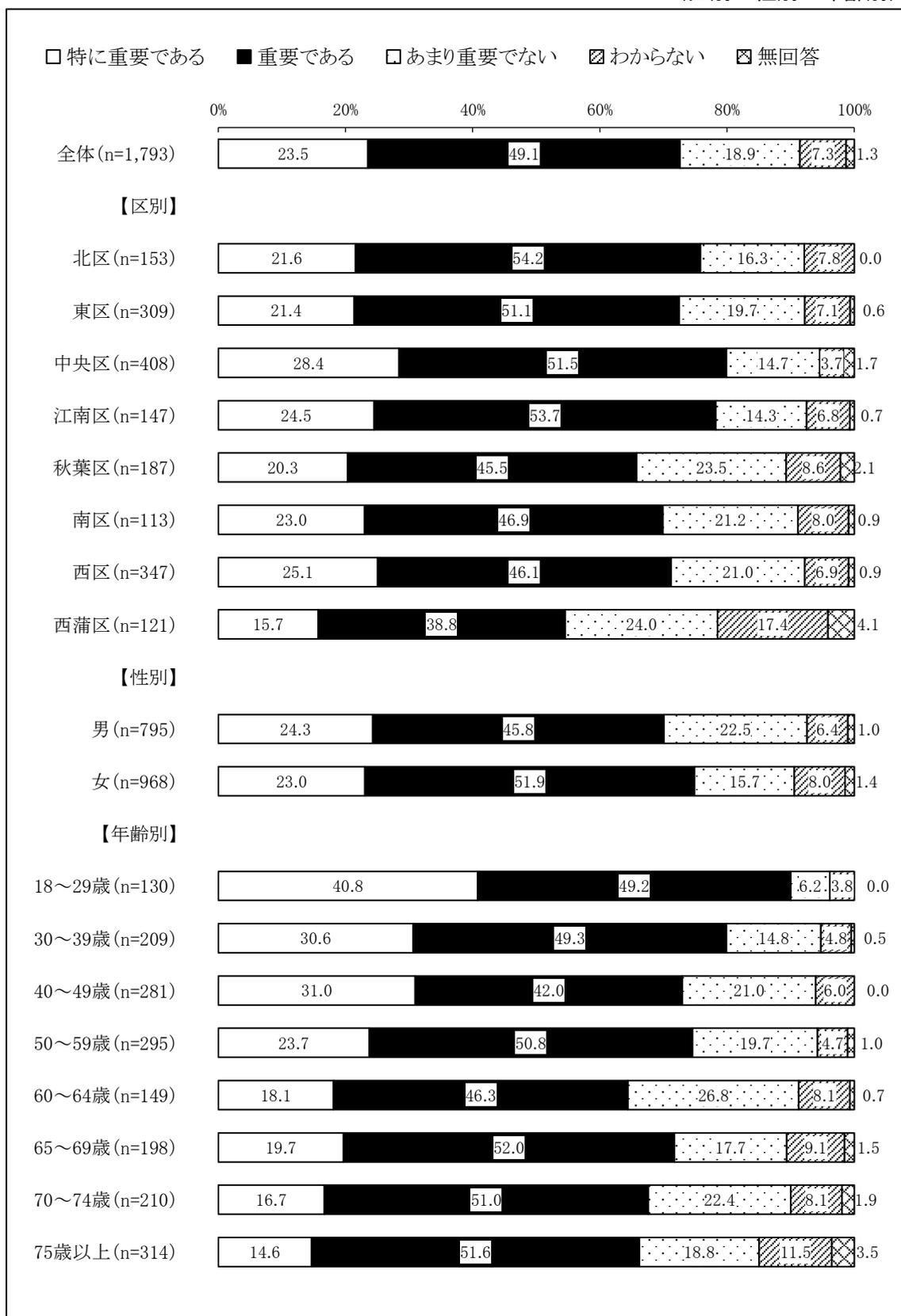


「特に重要である」は、区別では、江南区 (21.1) で最も割合が高い。性別による差はみられない。年齢別では、18～29歳 (30.0%) で最も割合が高い。職業別では、学生 (36.4%) で割合が高く、約9割となった。家族構成では、夫婦を除くいずれの家族構成でも2割前後となった。

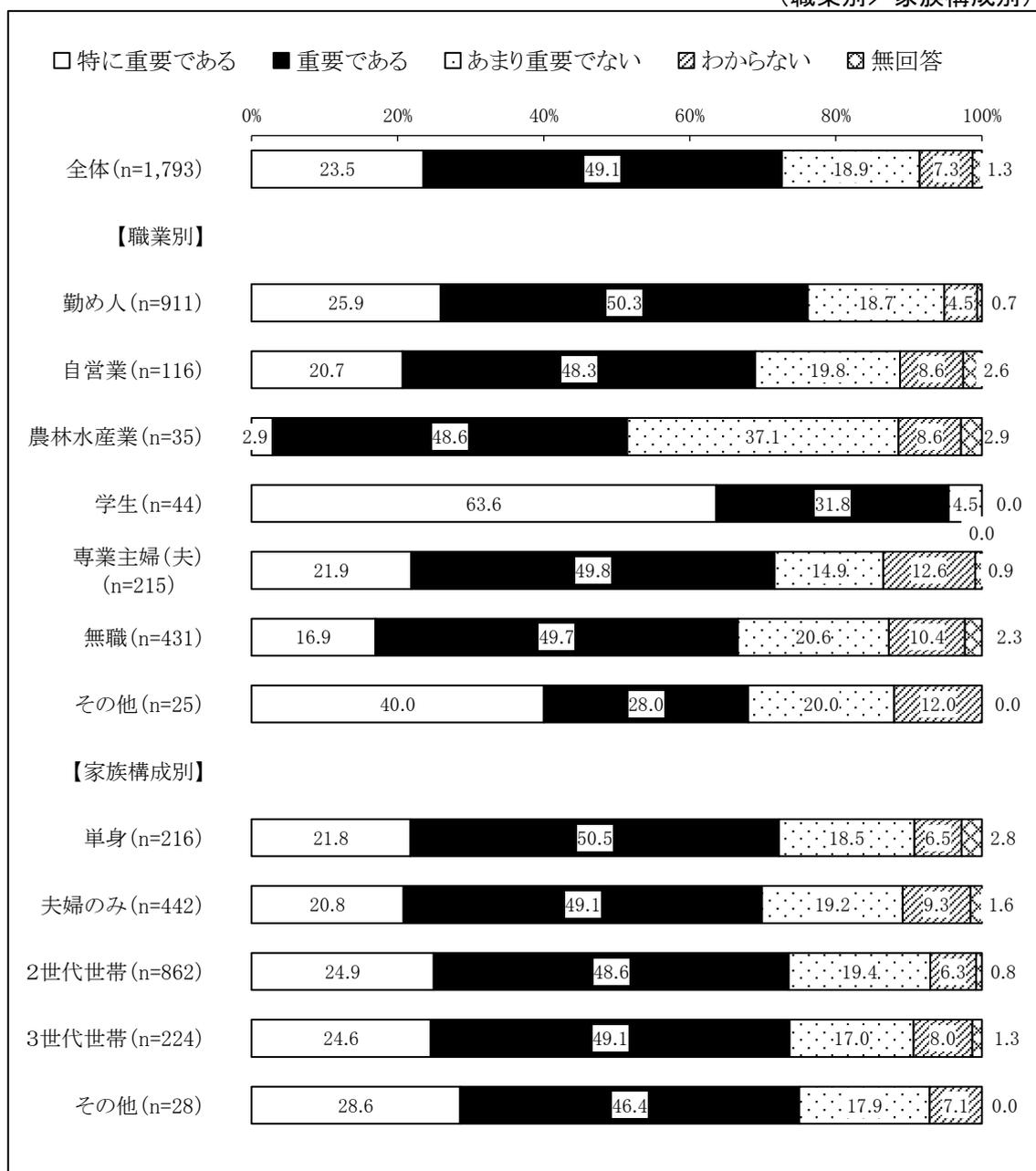
「あまり重要でない」と答えた割合は、年齢別では、60～64歳 (27.5%) で高く、3割弱となった。

⑩にぎわい空間の創出などのまちなか活性化

(区別/性別/年齢別)



(職業別／家族構成別)

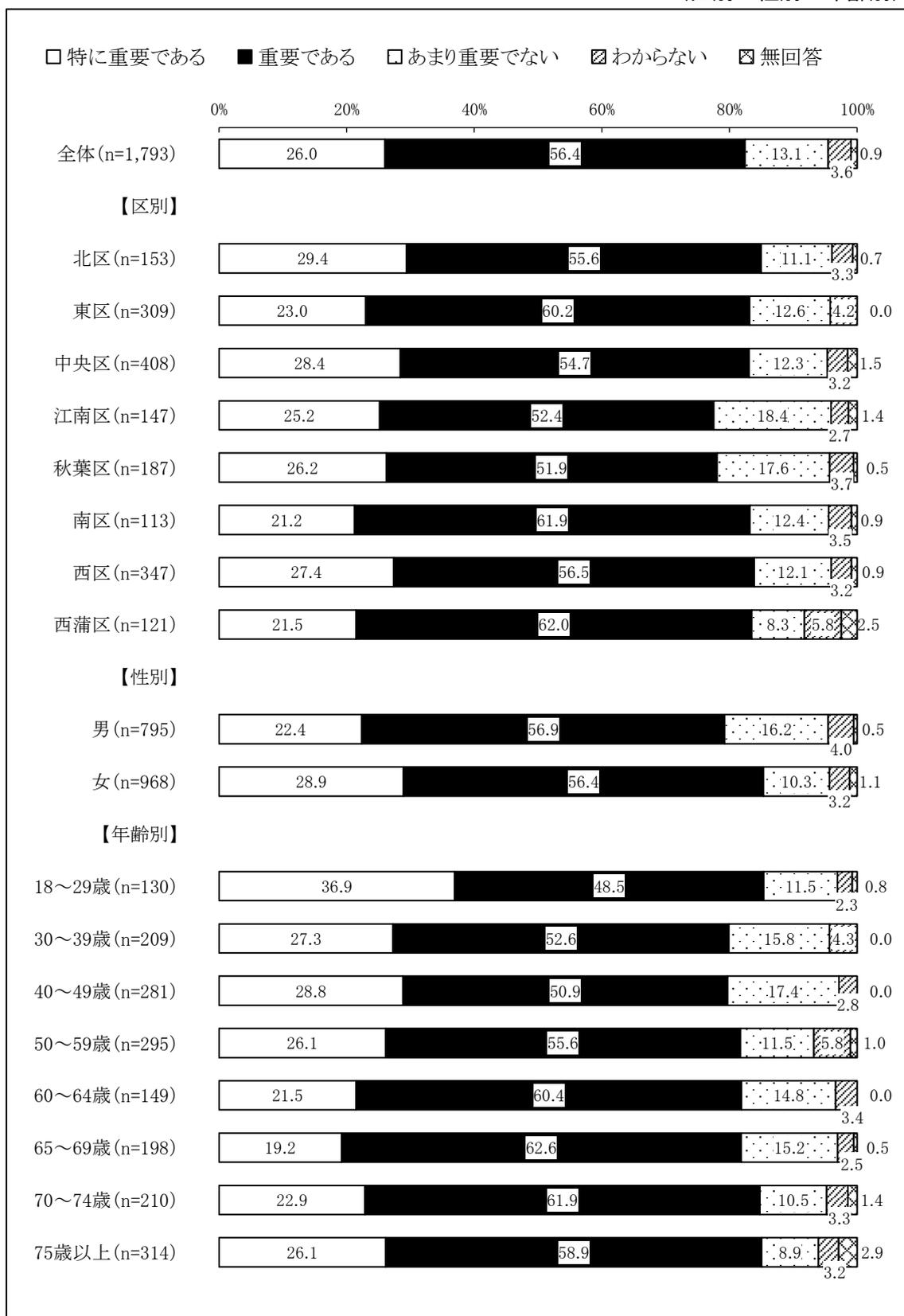


「特に重要である」は、区別では、中央区（28.4%）で最も割合が高く、西蒲区（15.7%）で割合が低い。性別による差はほとんどみられない。年齢別では、18～29歳（40.8%）で最も割合が高く、約4割となった。職業別では、学生（63.6%）で割合が高く、6割以上となった。家族構成による大きな差はない。

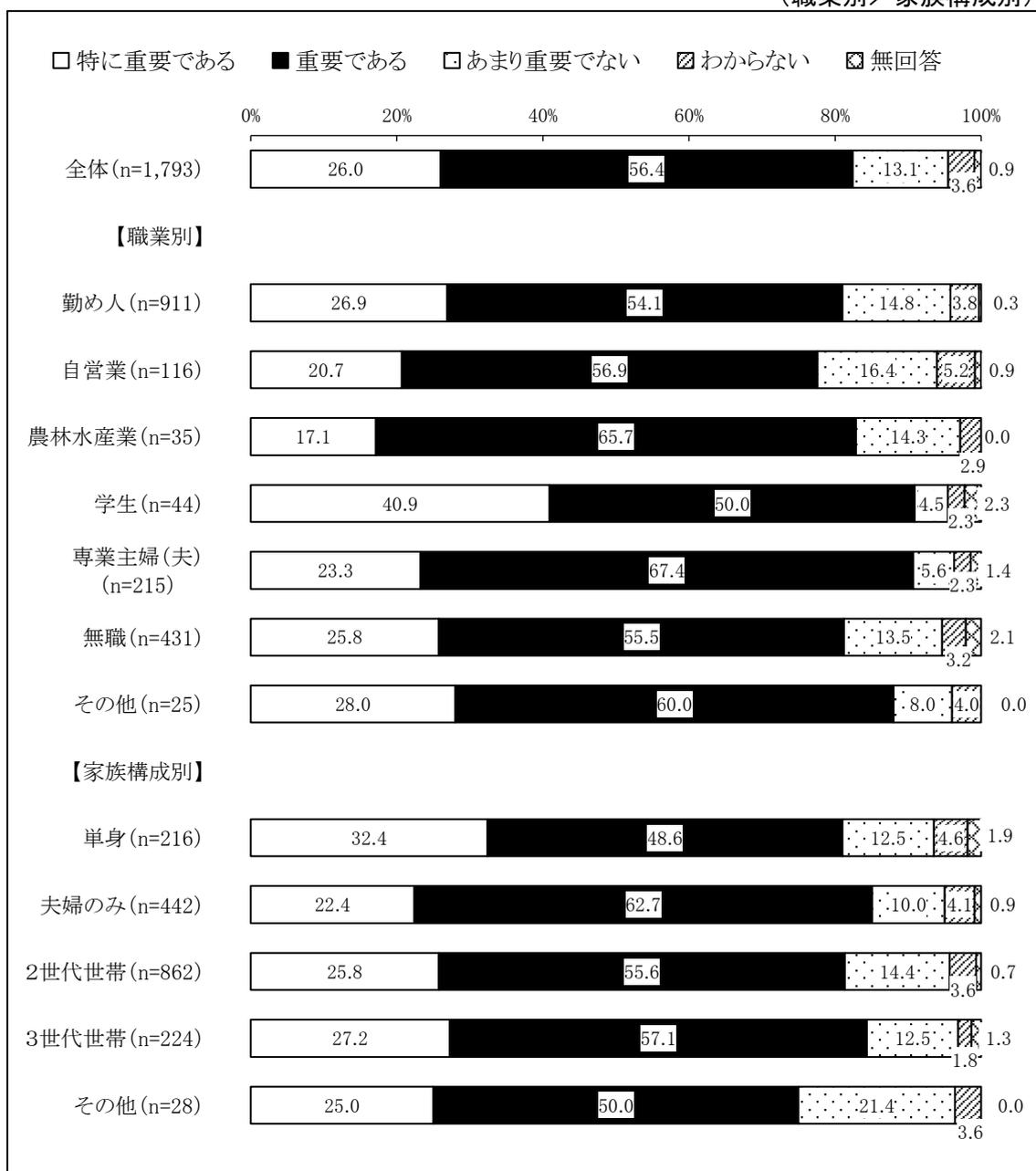
「あまり重要でない」と答えた割合は、職業別では、農林水産業（37.1%）で高く、4割弱となった。

⑪生涯にわたり心身ともに健康に暮らしていけるよう、健康寿命の延伸

(区別/性別/年齢別)



(職業別／家族構成別)

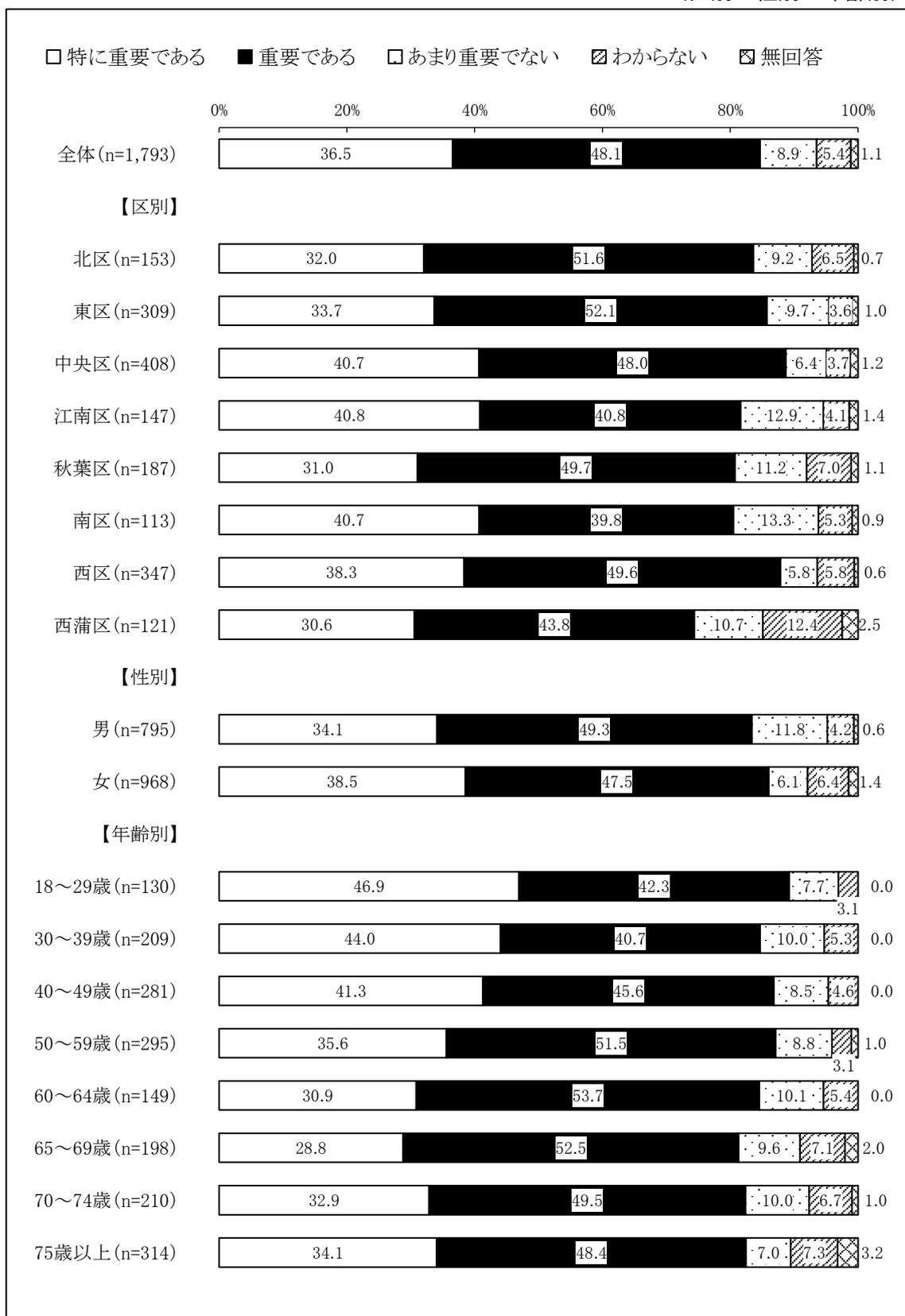


「特に重要である」は、区別では、北区 (29.4%) で最も割合が高い。性別では、男性 (22.4%) よりも女性 (28.9%) で割合が高い。年齢別では、18～29歳 (36.9%) で最も割合が高い。職業別では、学生 (40.9%) で割合が高い。家族構成では、単身 (32.4%) で最も割合が高い。

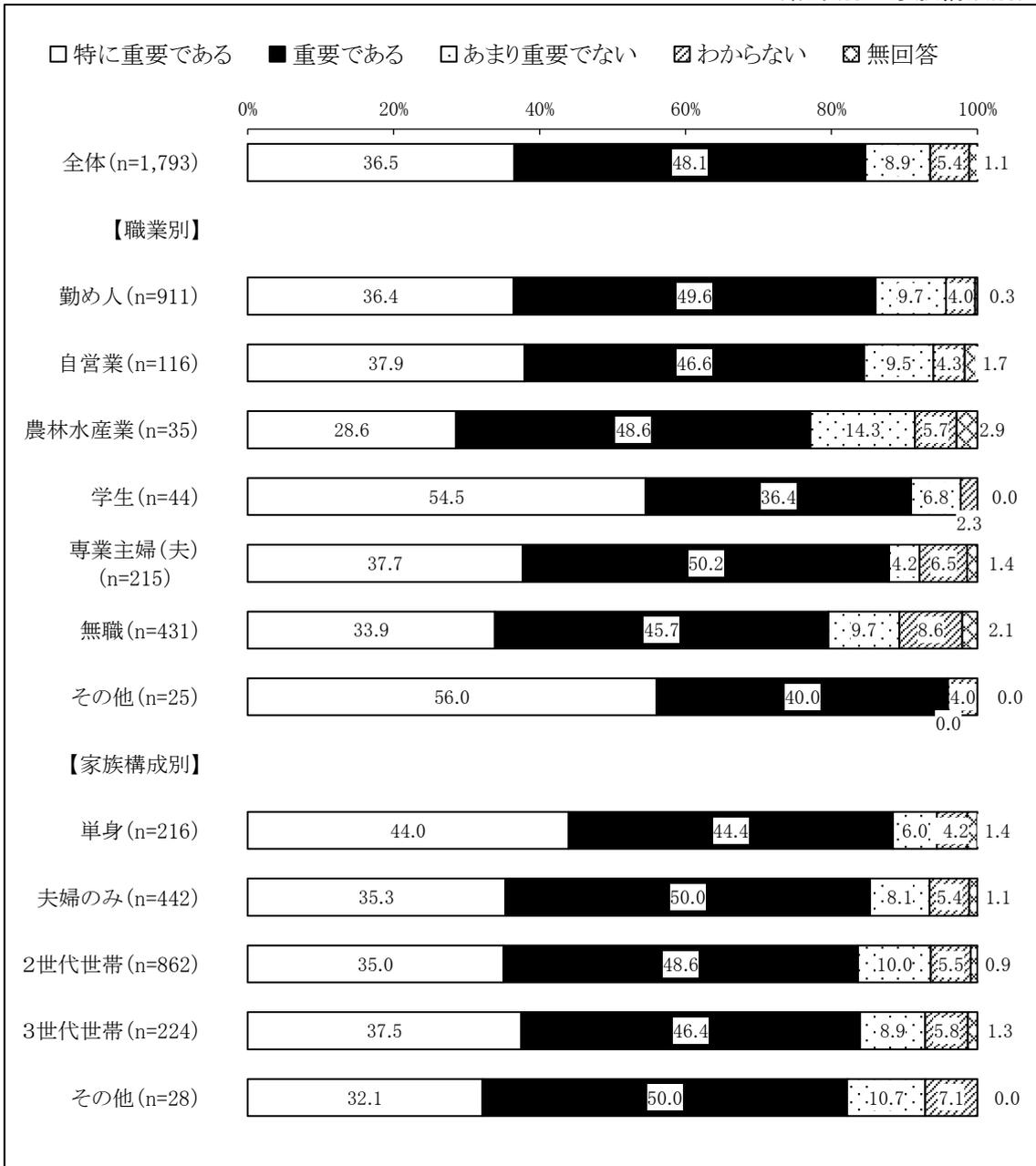
「あまり重要でない」と答えた割合は、区別では、江南区 (18.4%) で約2割となった。

⑫持続可能な公共交通体系の構築

(区別/性別/年齢別)



(職業別／家族構成別)

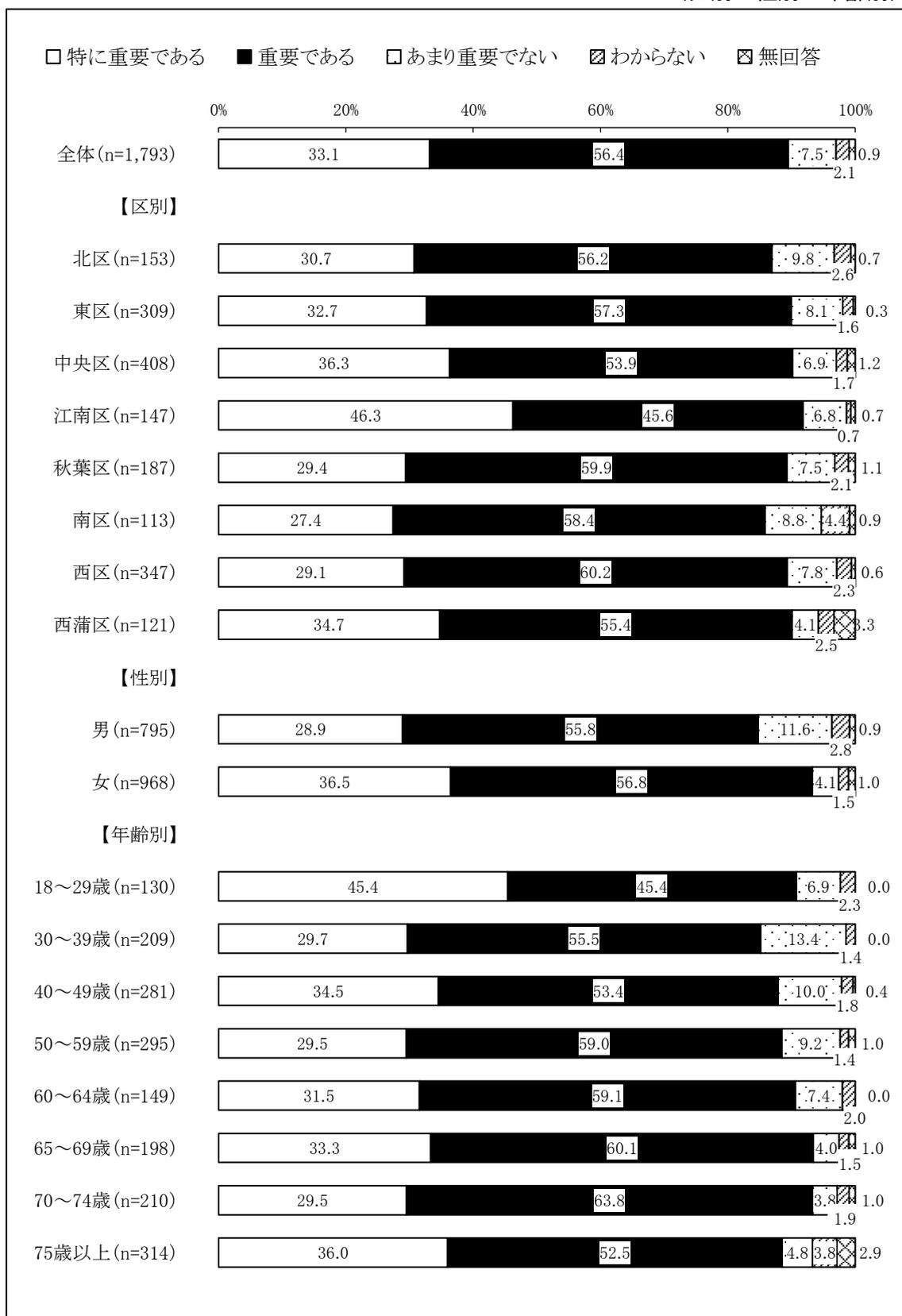


「特に重要である」は、区別では、江南区（40.8%）、中央区、南区（それぞれ40.7%）で割合が高く、すべての区で3割を超えた。性別では、男性（34.1%）よりも女性（38.5%）で割合が高い。年齢別では、18～29歳（46.9%）で最も割合が高く、65～69歳を除くすべての年齢層で3割を超えている。職業別では、学生（54.5%）で、家族構成では、単身（44.0%）で割合が最も高い。

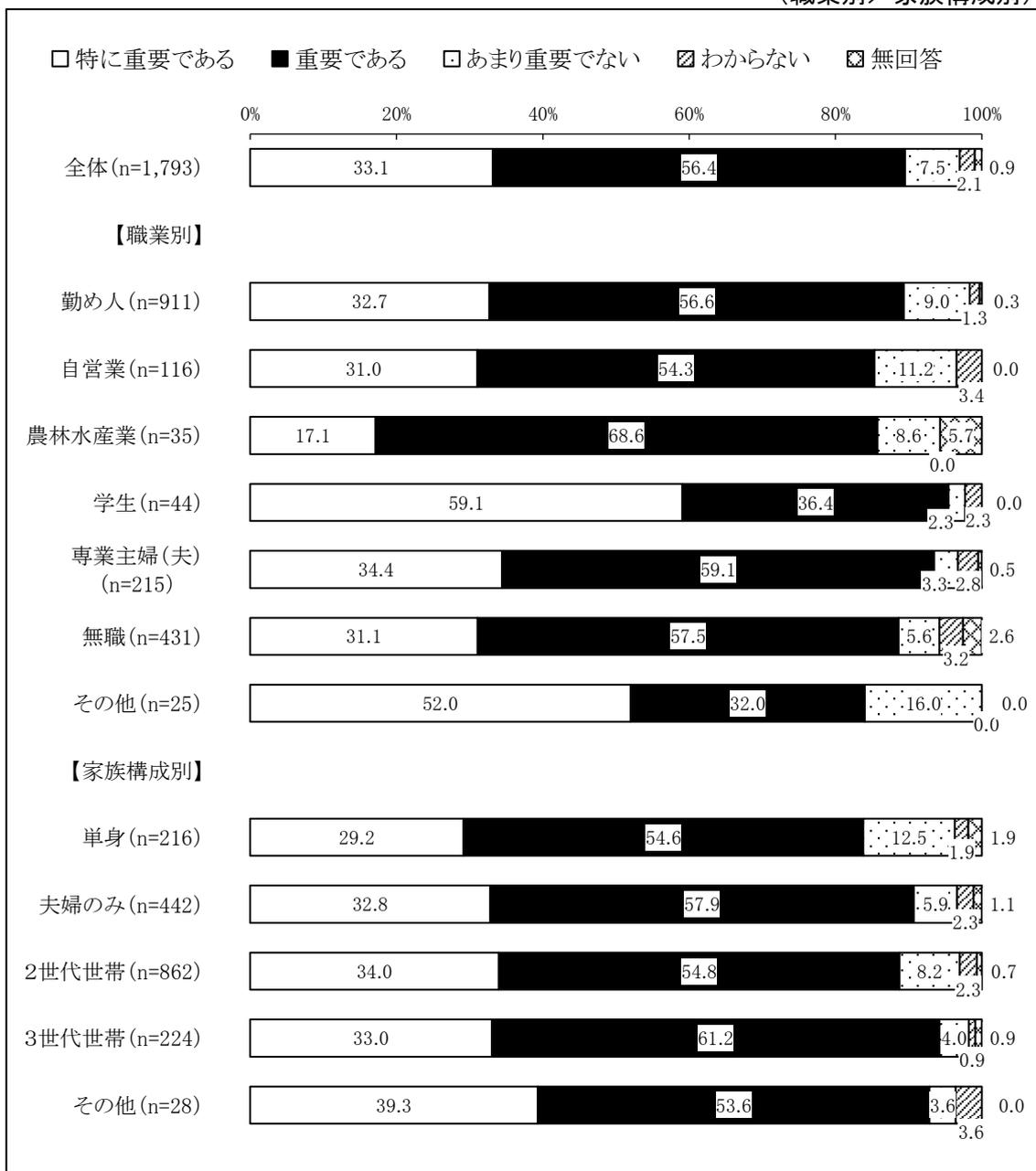
「あまり重要でない」と答えた割合は、いずれの属性でも2割に満たなかった。

⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくり

(区別/性別/年齢別)



(職業別／家族構成別)

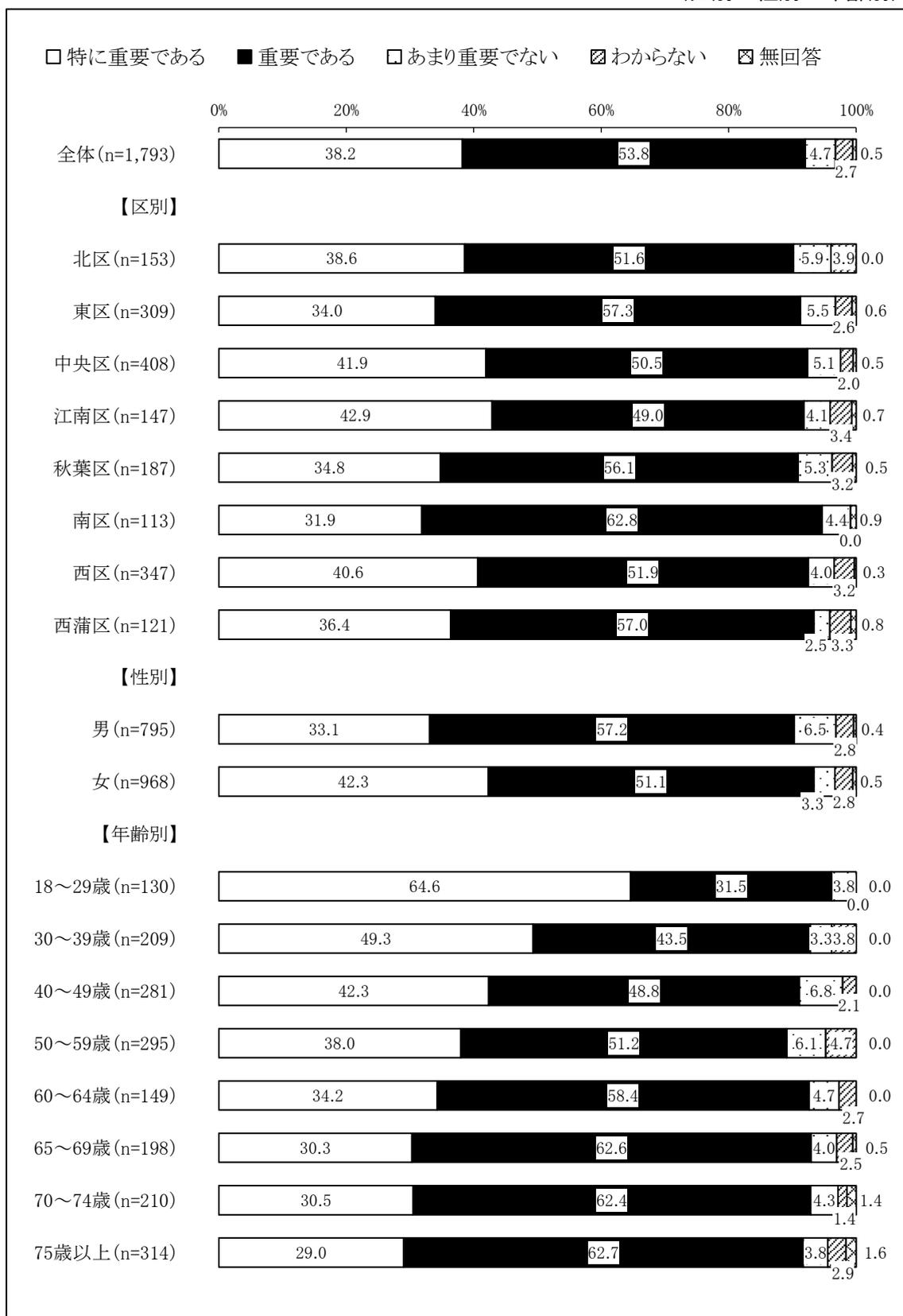


「特に重要である」は、区別では、江南区（46.3%）で最も割合が高い。性別では、男性（28.9%）よりも女性（36.5%）で割合が高い。年齢別では、18～29歳（45.4%）で最も割合が高く、いずれの年齢層でも3割前後となっている。職業別では、学生（59.1%）で最も割合が高く、農林水産業（17.1%）で最も低い。家族構成では、2世代世帯（親と子）（34.0%）で割合が最も高い。

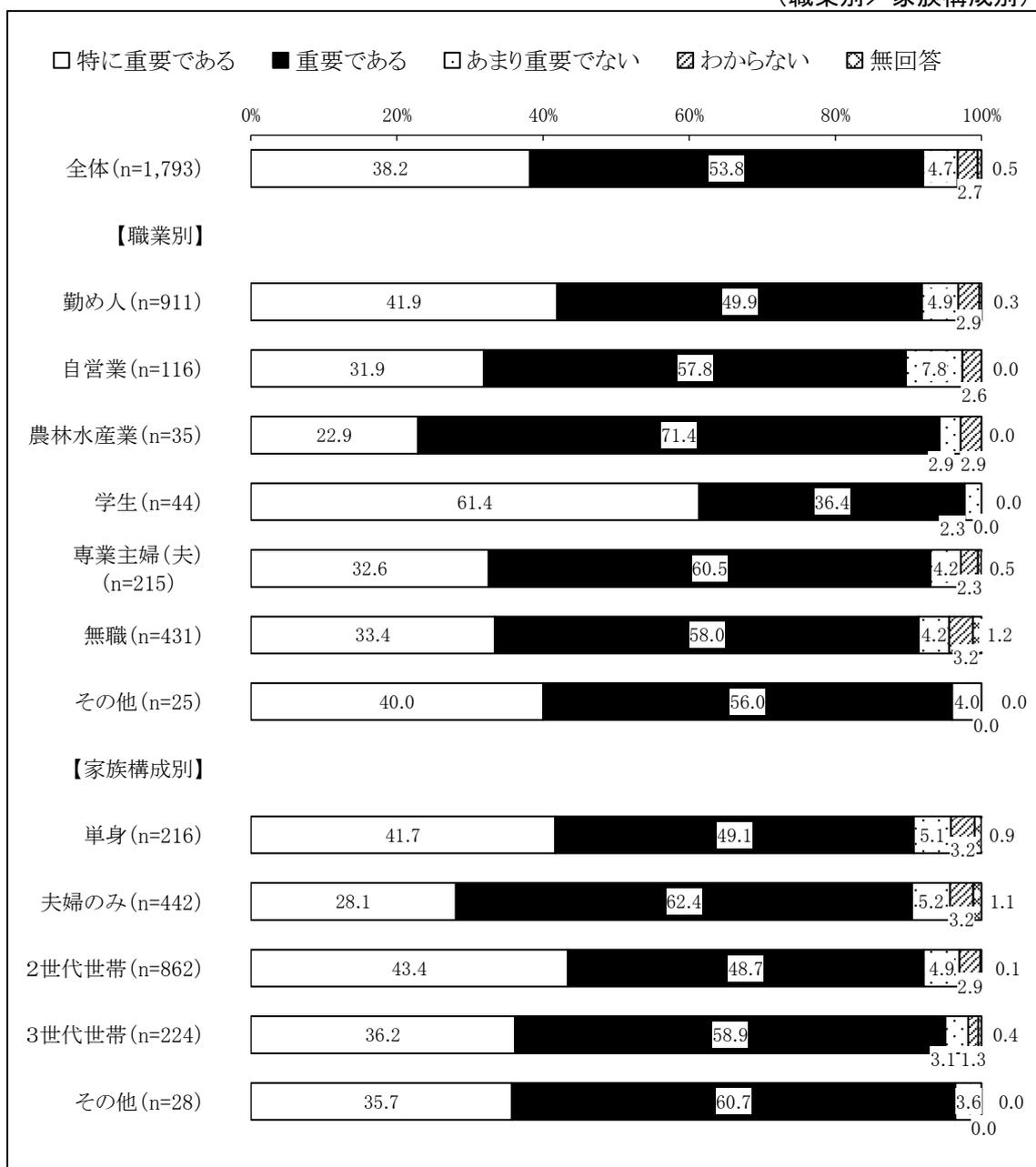
「あまり重要でない」と答えた割合は、いずれの属性でも2割に満たない。

⑭女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくり

(区別/性別/年齢別)



(職業別／家族構成別)

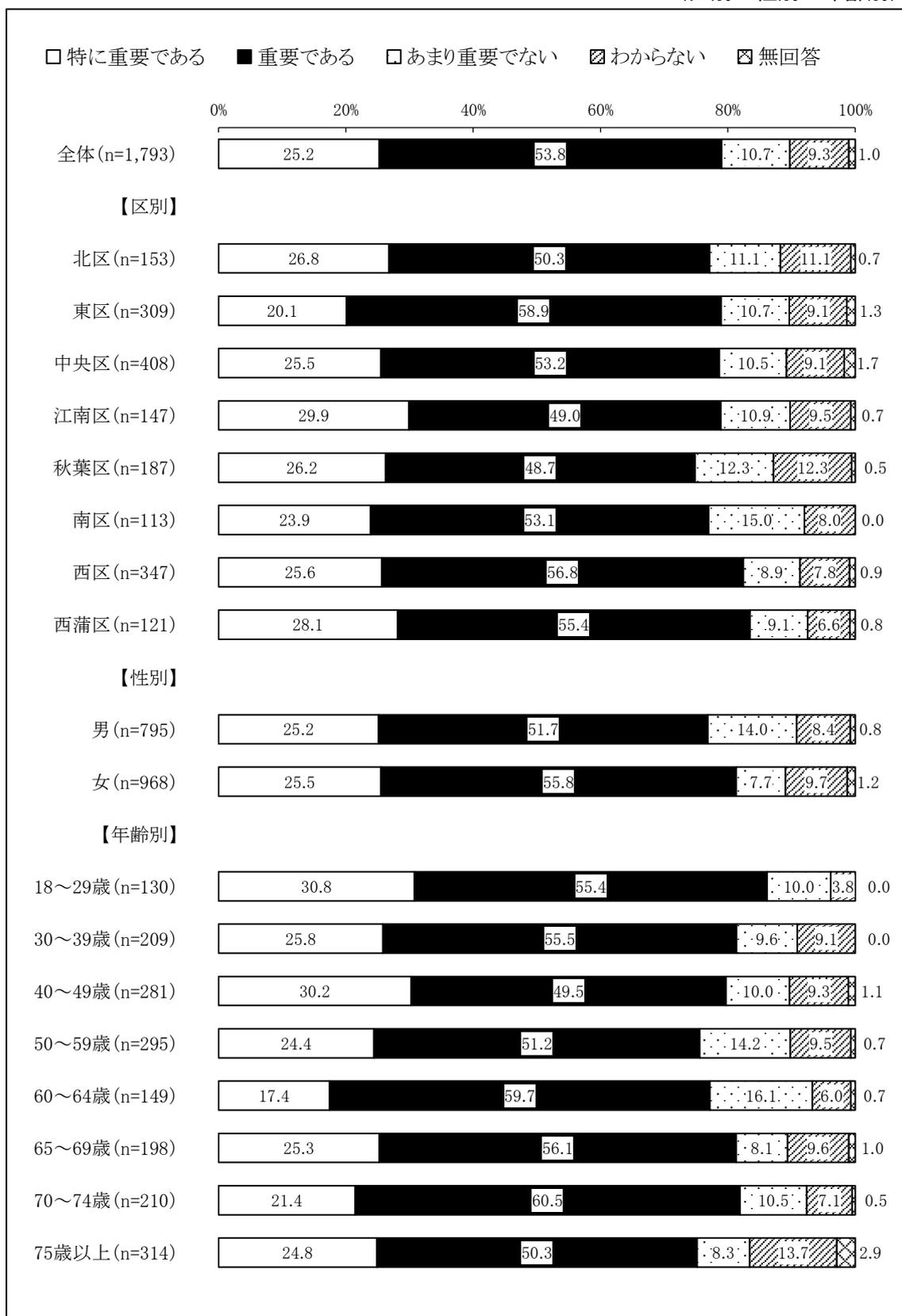


「特に重要である」は、区別では、江南区（42.9%）で最も割合が高い。性別では、男性（33.1%）よりも女性（42.3%）で割合が高い。年齢別では、18～29歳（64.6%）で最も割合が高く、6割を超えている。職業別では、学生（61.4%）で最も割合が高く、農林水産業（22.9%）で最も低い。家族構成では、2世代世帯（親と子）（43.4%）で割合が最も高い。

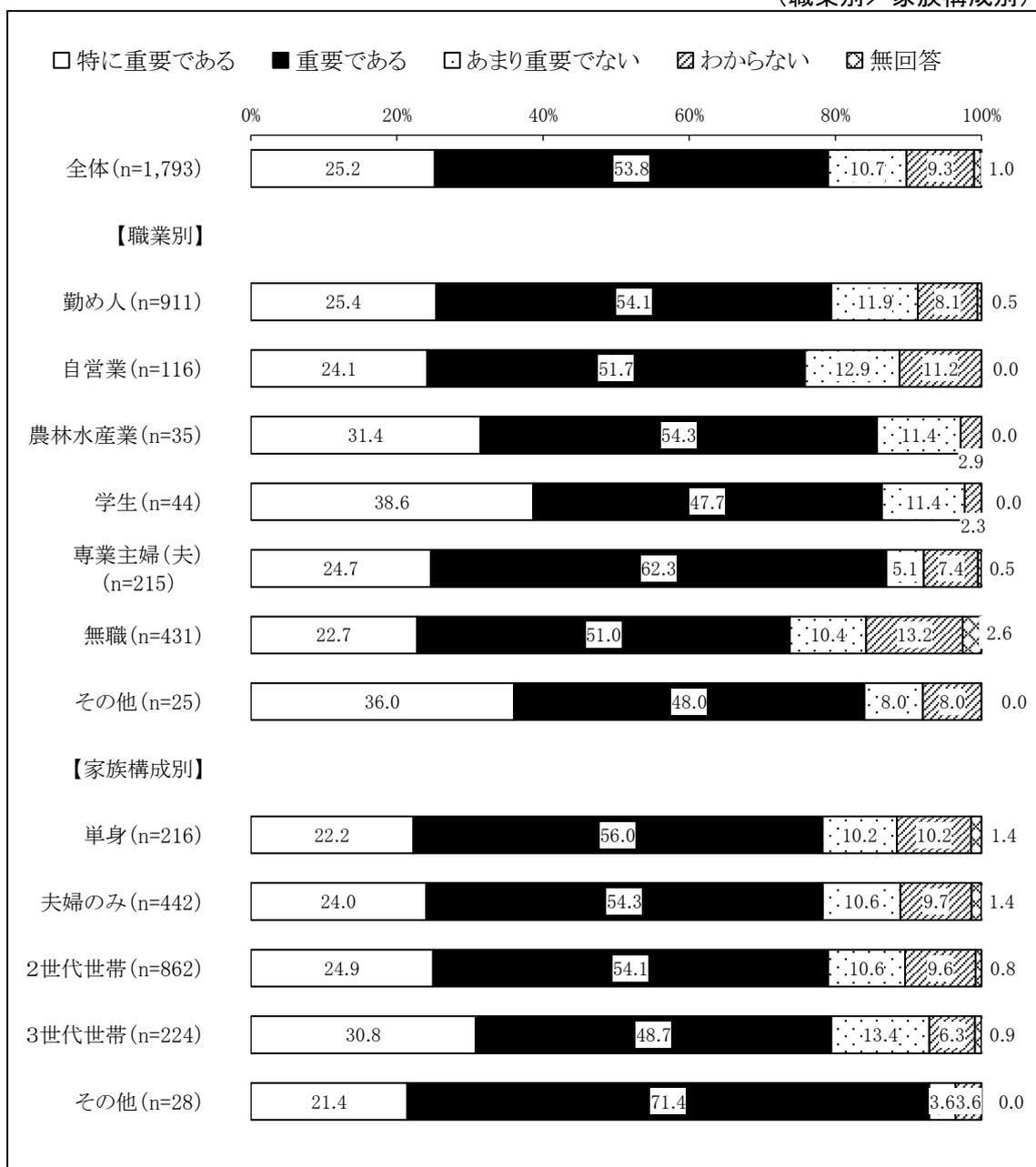
「あまり重要でない」と答えた割合は、いずれの属性でも1割に満たなかった。

⑮農業や食品産業が一体となって発展するような農業の6次産業化の推進

(区別/性別/年齢別)



(職業別／家族構成別)

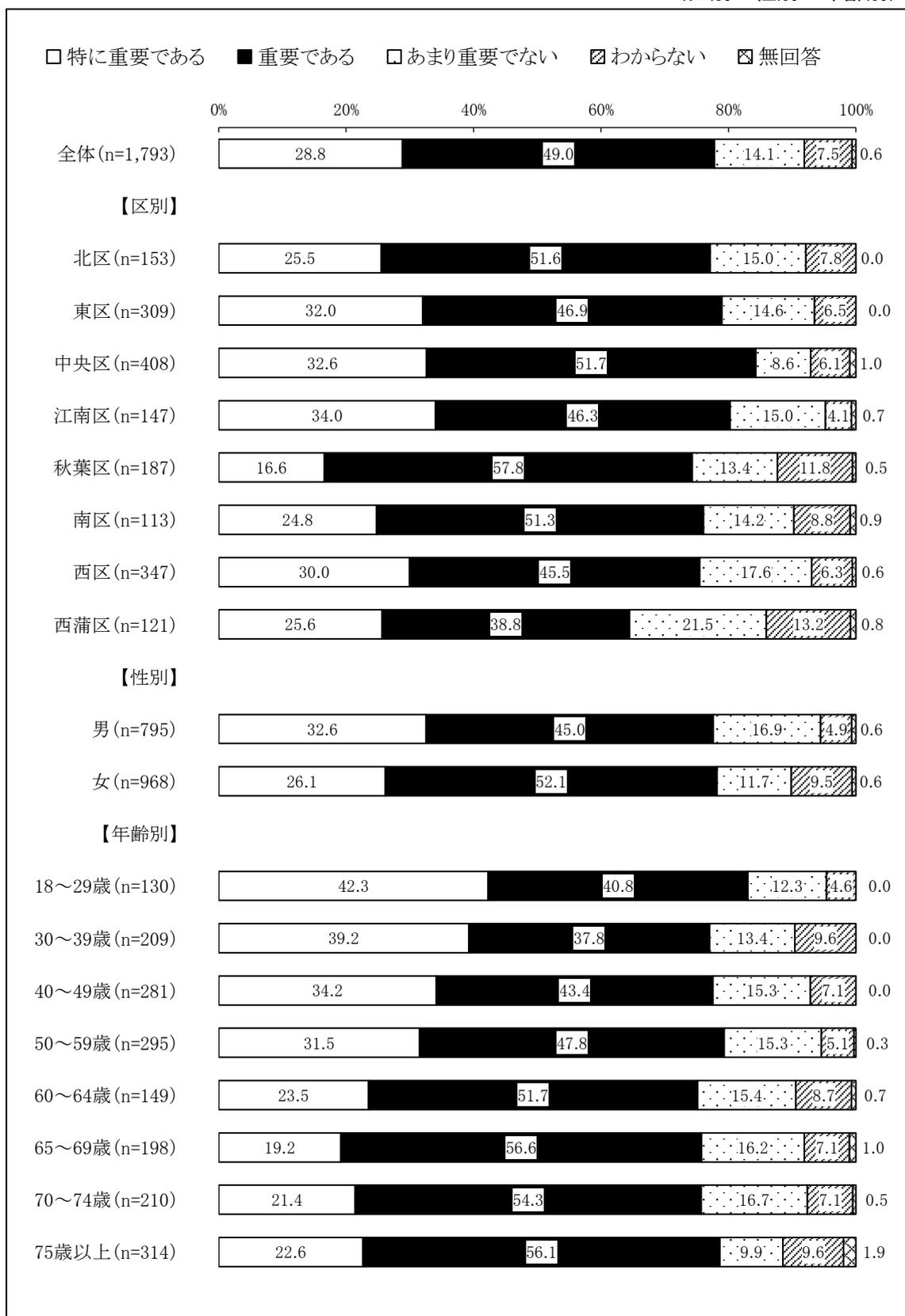


「特に重要である」は、区別では、江南区（29.9%）で最も割合が高い。性別による差はみられない。年齢別では、18～29歳（30.8%）、40～49歳（30.2%）、で割合が高く、約3割となった。職業別では、学生（38.6%）で割合が最も高い。家族構成では、3世代世帯（親と子と孫）（30.8%）で最も割合が高い。

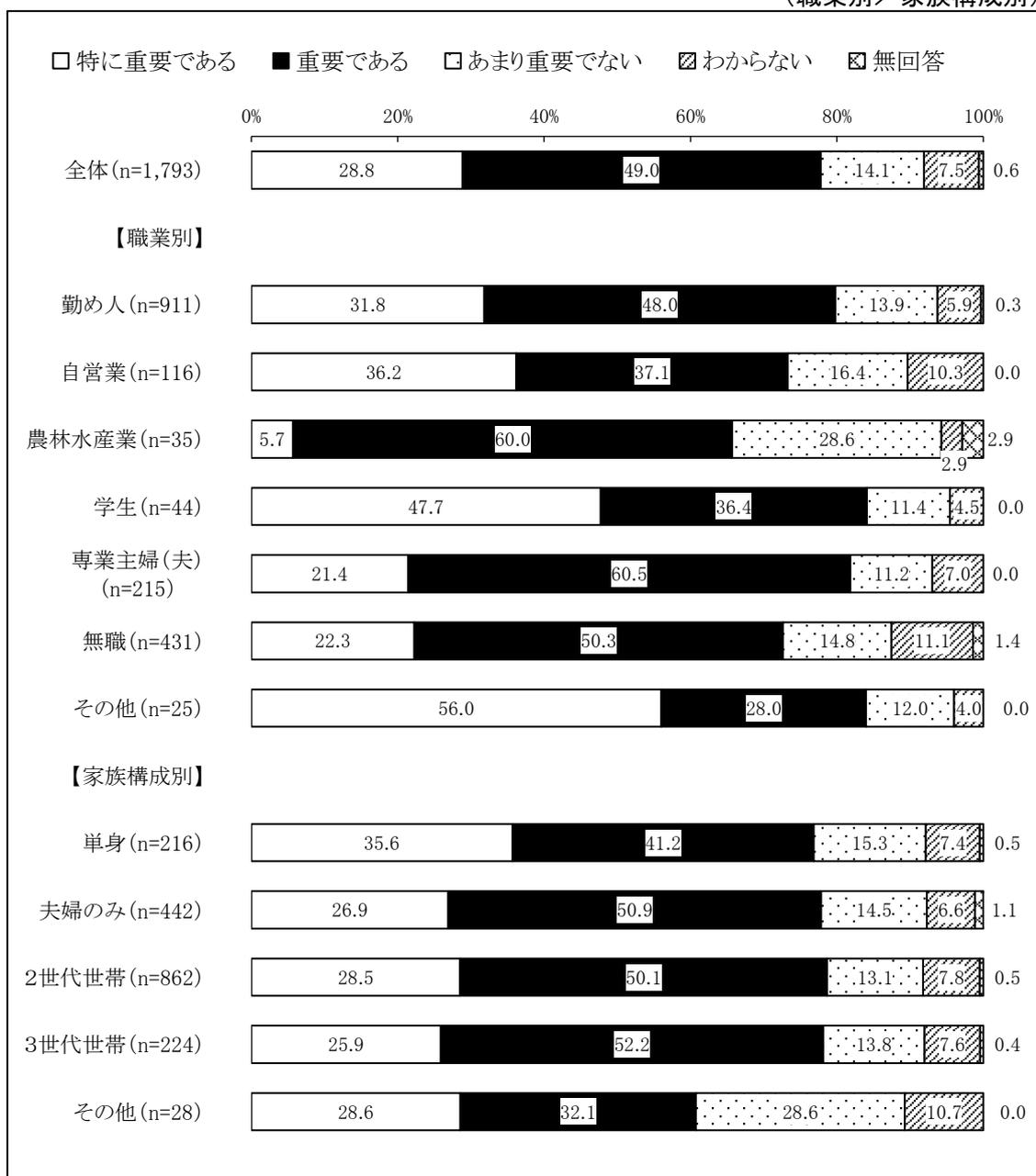
「あまり重要でない」と答えた割合は、いずれの属性でも2割に満たなかった。

⑩港、空港、鉄道、道路網などを活かした拠点機能の強化

(区別/性別/年齢別)



(職業別／家族構成別)

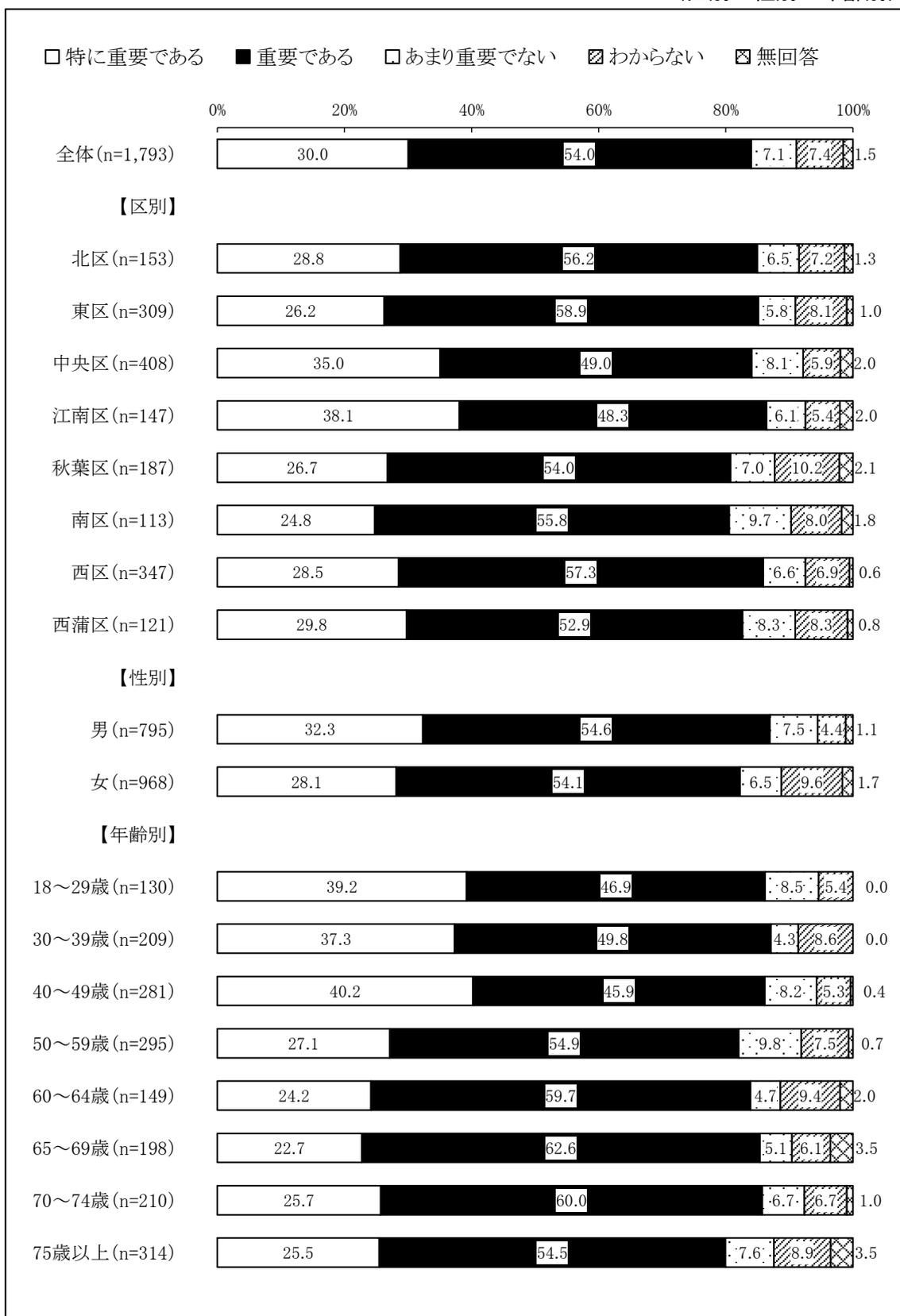


「特に重要である」は、区別では、江南区（34.0%）で最も割合が高い。性別では、女性（26.1%）よりも男性（32.6%）で割合が高い。年齢別では、18～29歳（42.3%）で最も割合が高い。職業別では、学生（47.7%）で割合が最も高い。家族構成では、単身（35.6%）で割合が最も高い。

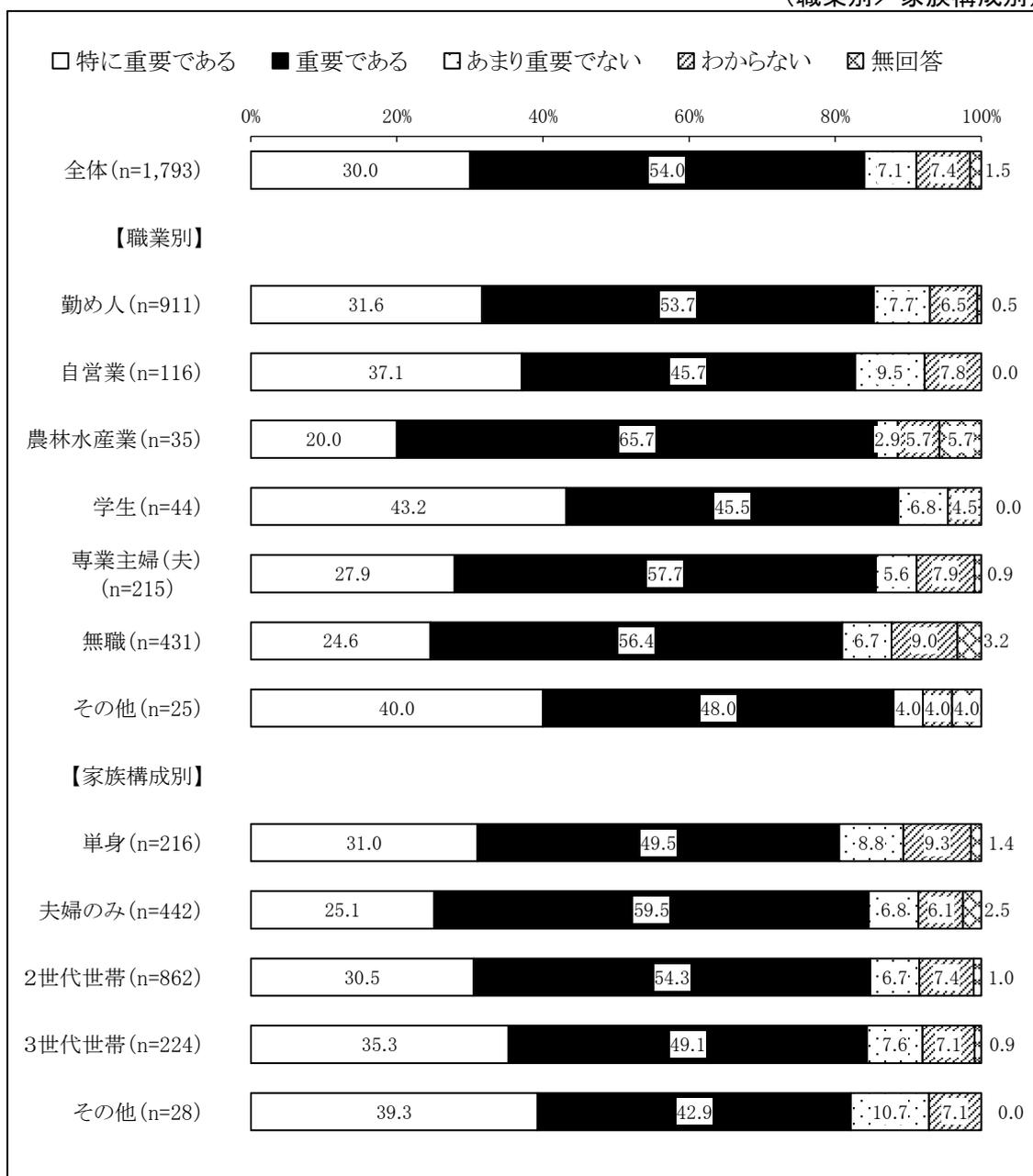
「あまり重要でない」と答えた割合は、区別では、西蒲区（21.5%）で約2割、職業別では、農林水産業（28.6%）で高く、約3割となった。

⑰既存産業の育成や創業・起業への支援などによる中小企業の振興や雇用創出

(区別/性別/年齢別)



(職業別／家族構成別)

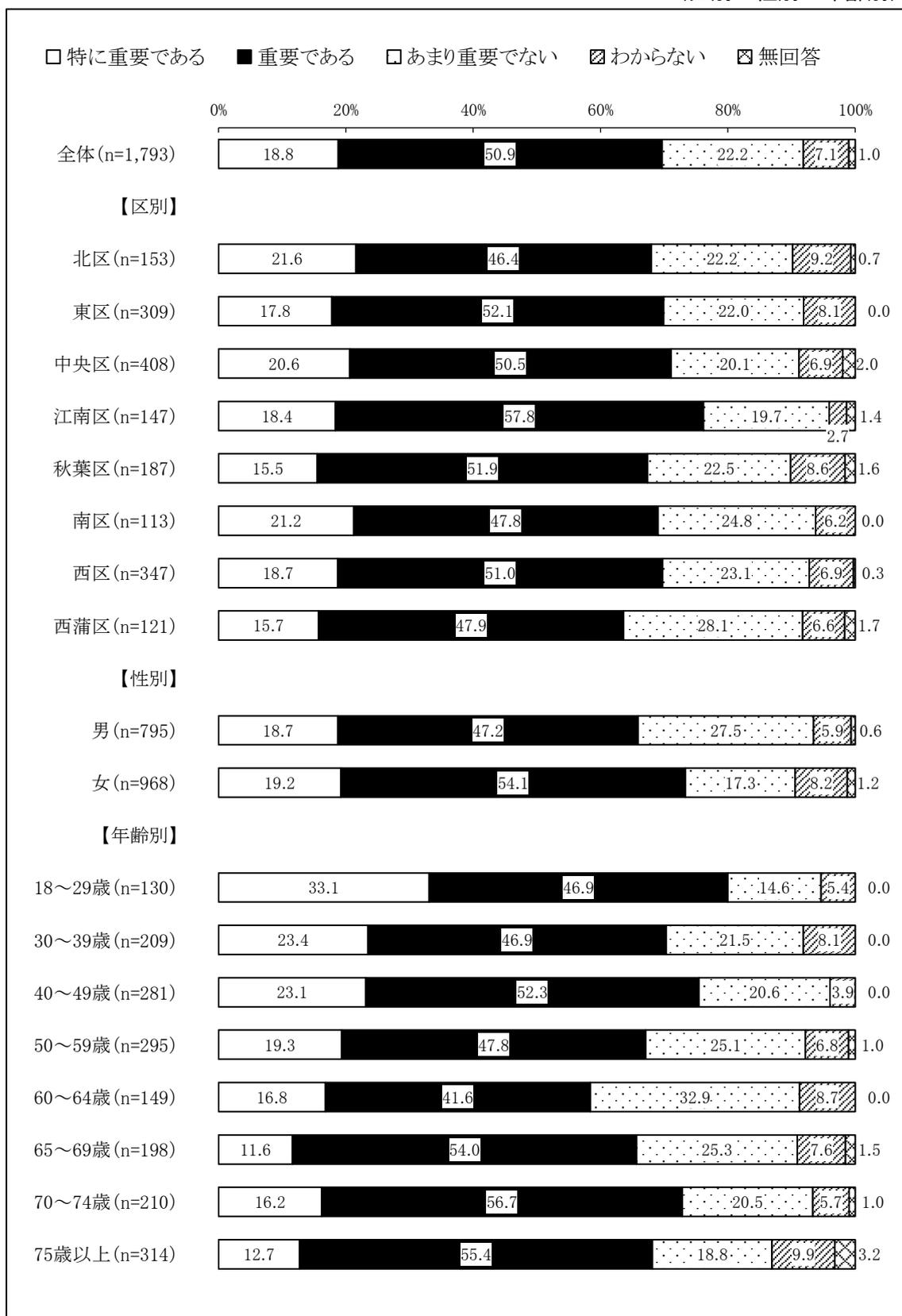


「特に重要である」は、区別では、江南区（38.1%）で最も割合が高い。性別では、女性（28.1%）よりも男性（32.3%）で割合が高い。年齢別では、40～49歳（40.2%）で最も割合が高い。職業別では、学生（43.2%）で割合が最も高い。家族構成では、3世代世帯（親と子と孫）（35.3%）で割合が最も高い。

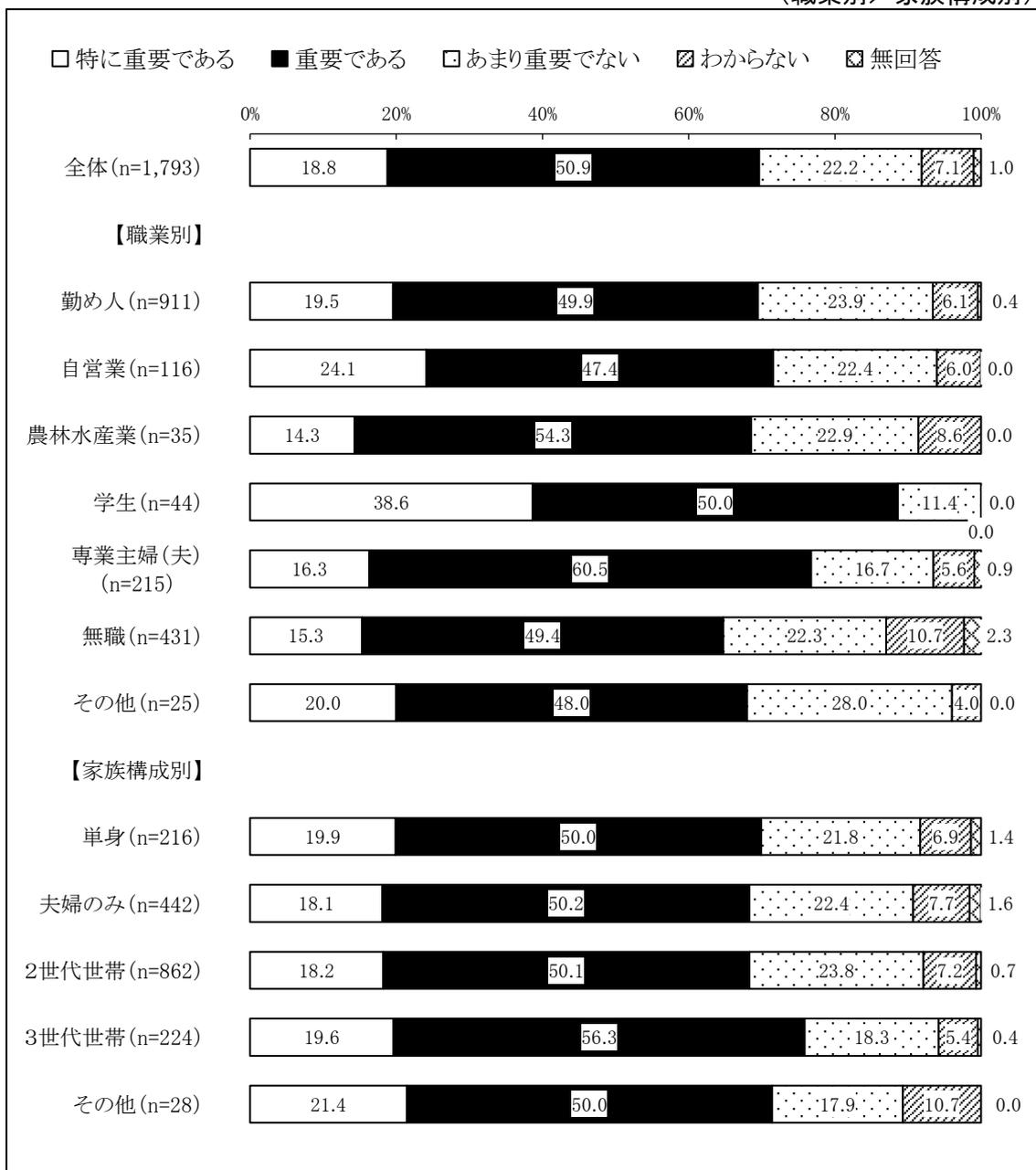
「あまり重要でない」と答えた割合は、いずれの属性でも1割に満たなかった。

⑩食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信

(区別/性別/年齢別)



(職業別／家族構成別)

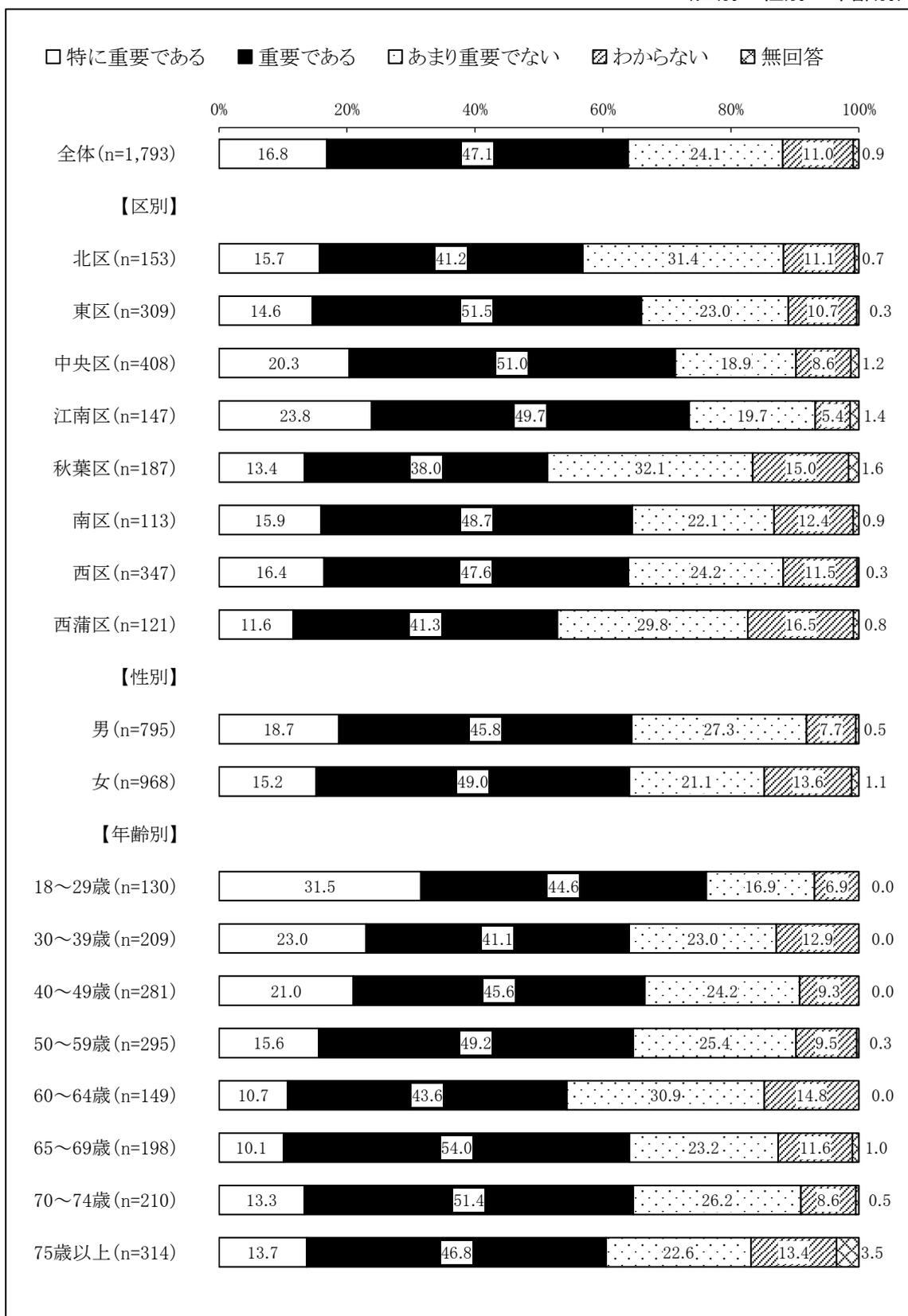


「特に重要である」は、区別では、いずれの区でも2割前後となった。性別による差はほとんどみられない。年齢別では、18～29歳（33.1%）で最も割合が高い。職業別では、学生（38.6%）で割合が最も高く、約9割となった。家族構成による差はほとんどみられない。

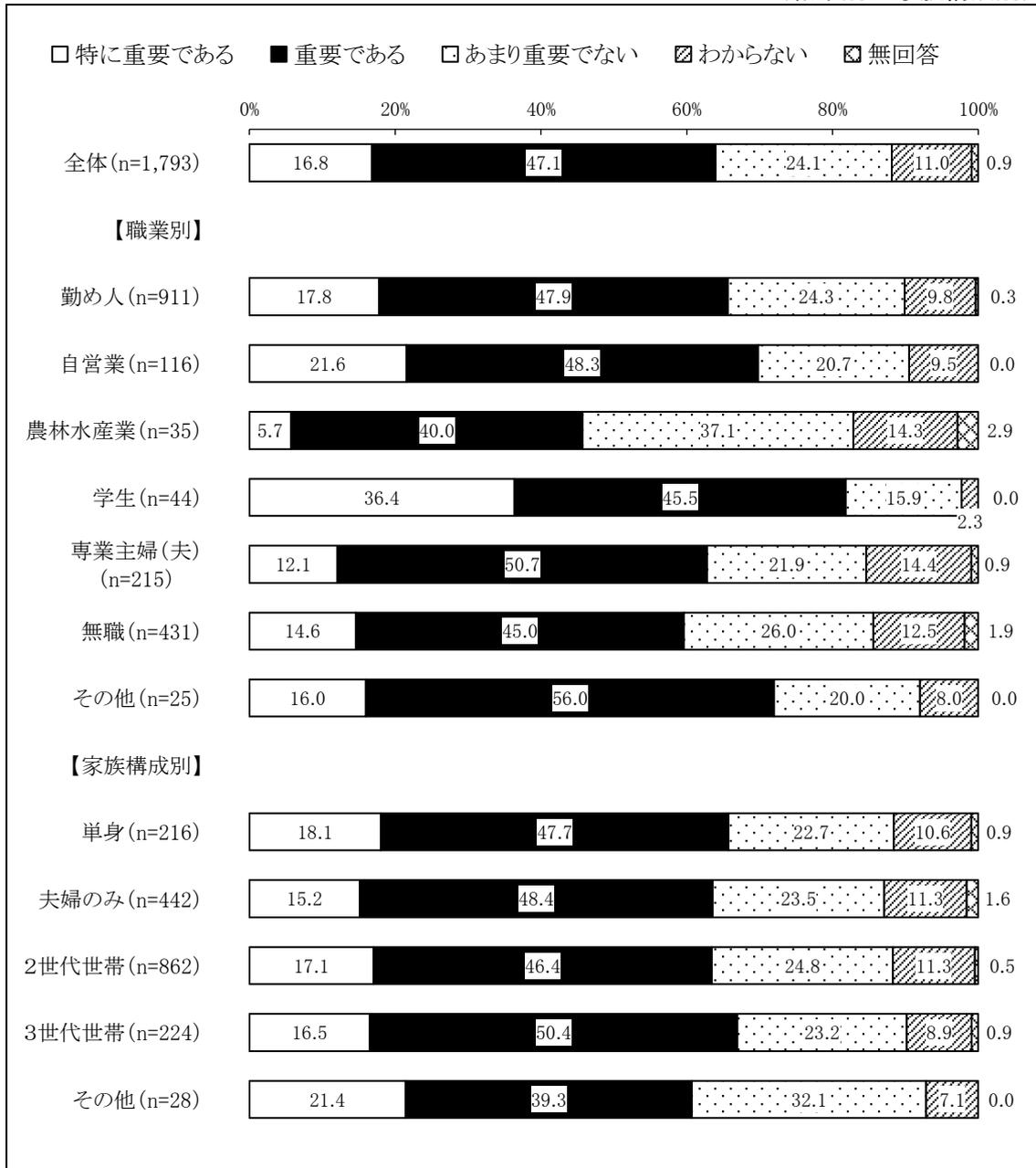
「あまり重要でない」と答えた割合は、区別では、西蒲区（28.1%）、年齢別では、60～64歳（32.9%）で高く、約3割となった。

⑱広域的な交流人口の拡大に向けた国内外からの誘客促進

(区別/性別/年齢別)



(職業別／家族構成別)

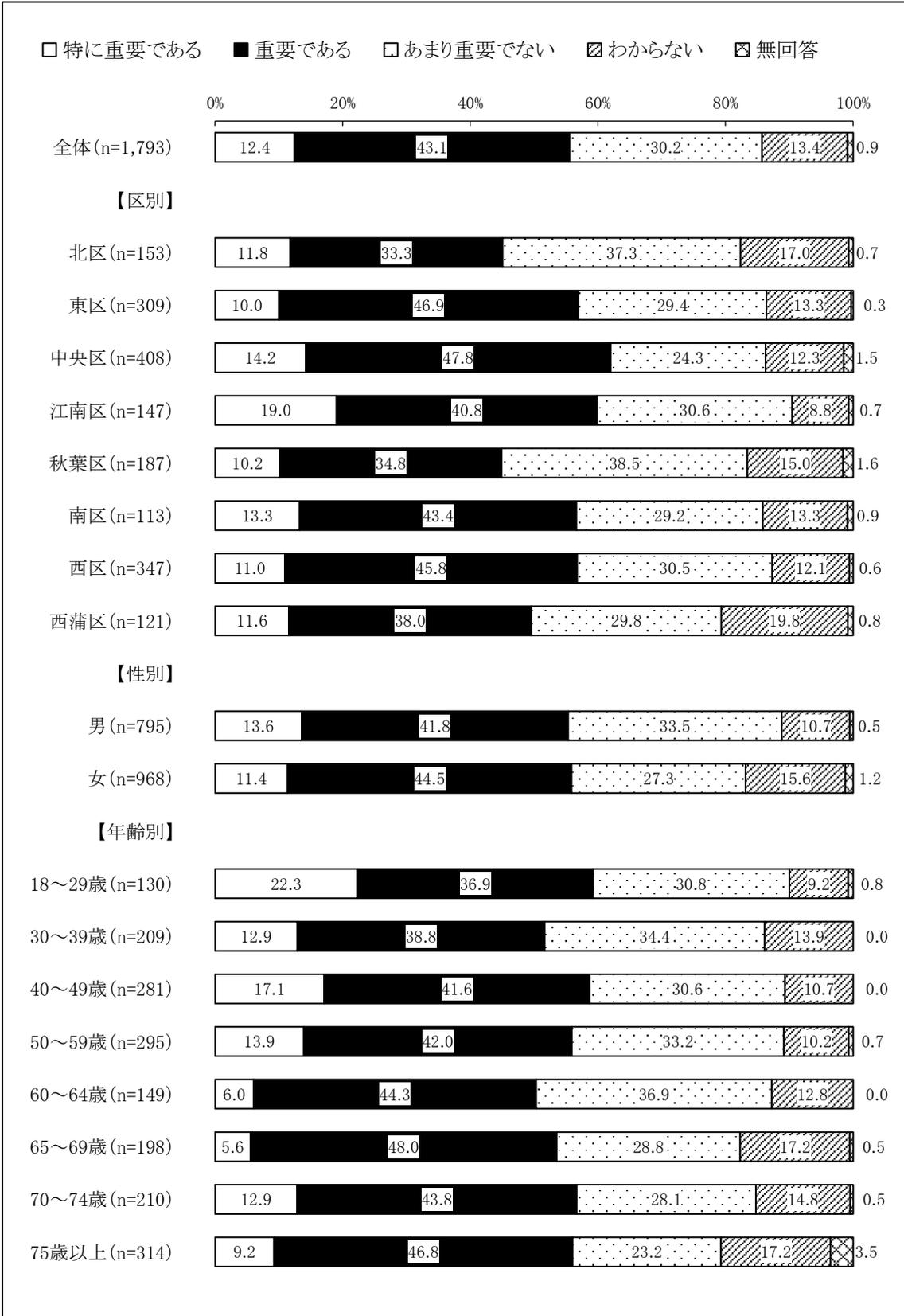


「特に重要である」は、区別では、江南区 (23.8%)、中央区 (20.3%) で割合が高く、2割を超えた。性別では、女性 (15.2%) よりも男性 (18.7%) で割合が高い。年齢別では、18～29歳 (31.5%) で最も割合が高い。職業別では、学生 (36.4%) で割合が最も高く、農林水産業 (5.7%) で低く、1割に満たなかった。家族構成による大きな差はみられない。

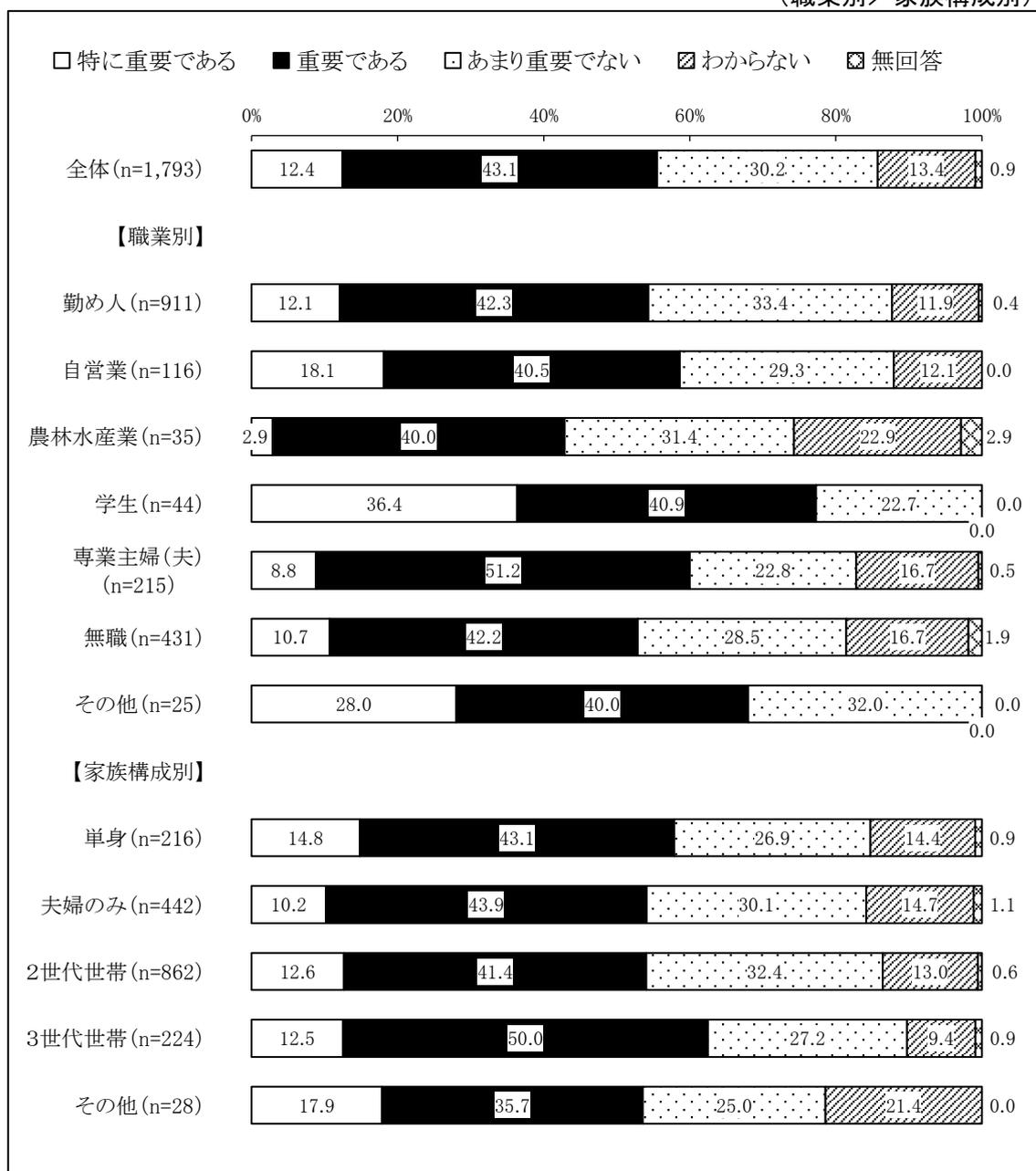
「あまり重要でない」と答えた割合は、区別では、北区 (31.4%)、秋葉区 (32.1%)、年齢別では、60～64歳 (30.9%)、職業別では、農林水産業 (37.1%) で高く、3割を超えた。

⑩国際交流

(区別/性別/年齢別)



(職業別／家族構成別)



「特に重要である」は、区別では、江南区（19.0%）で最も割合が高い。性別では、女性（11.4%）よりも男性（13.6%）で割合が高い。年齢別では、18～29歳（22.3%）で最も割合が高く、60～64歳（6.0%）、65～69歳（5.6%）、75歳以上（9.2%）では1割に満たなかった。職業別では、学生（36.4%）で最も割合が高く、農林水産業（2.9%）、専業主婦（夫）（8.8%）で低く、1割に満たない。家族構成による大きな差はみられない。

「あまり重要でない」と答えた割合は、区別では、秋葉区（38.5%）で高く、約4割となった。

他の回答と比べると「わからない」という回答が多かった。